

窓あき宛名

郵便還付先

自治体の名称

印

帳票タイトル

帳票本文

問い合わせ先タイトル

担当部署名

〒 担当部署住所

TEL 担当部署電話番号 FAX番号 担当部署FAX番号 メール 担当部署メール

不服の申立タイトル

不服の申立本文

不服申立先担当部署名

不服申立先担当自治体名

〒 不服申立先担当部署郵便番号 不服申立先担当部署住所

TEL 不服申立先担当部署電話番号

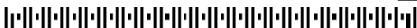
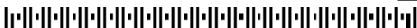
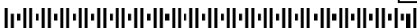
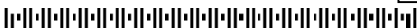
帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	01. 共通	帳票名称	01 通知書印刷用帳票
----	--------	------	-------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
1	文書番号		●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	発行年月日		●			和暦表記
3	宛名		●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
4	郵便還付先			●		パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
5	自治体の名称		●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
6	自治体の印		●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している公印を出力する
7	帳票タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する
8	帳票本文		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する
9	問い合わせ先	問い合わせ先出力有無	-	-	-	通番10～通番19の問い合わせ先項目については、パラメタにより出力有無を変更でき、「有」となっている場合は、通番10～通番19の項目を出力すること
10		問い合わせ先タイトル	●			「問い合わせ先」の文言を出力
11		担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名
12		〒	●			「〒」の文言を出力
13		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所
14		TEL	●			「TEL」の文言を出力
15		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定
16		FAX番号	●			「FAX番号」の文言を出力 パラメタにより出力有無を変更できること
17		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること
18		メール		●		「メール」の文言を出力

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		01. 共通	帳票名称			01 通知書印刷用帳票
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
19		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定
20	不服の申立	不服の申立出力有無	-	-	-	通番21～通番27の不服の申立項目については、パラメタにより出力有無を変更でき、「有」となっている場合は、通番21～通番27の項目を出力すること
21		不服の申立タイトル	●			文言マスタで設定された文言を印字する (印字例) 不服の申立
22		不服の申立本文[不服申立先担当部署名][不服申立先担当自治体名]	●			文言マスタで設定された文言を印字する [不服申立先担当部署名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（例：後期高齢者医療審査会名等を設定） [不服申立先担当自治体名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（提起先組織名。例：後期高齢者医療広域連合名等を設定） (印字例) この通知について不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に[不服申立先担当部署名]に対し審査請求をすることができます。また、この処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決書を受け取った日の翌日から起算して6か月以内に[不服申立先担当自治体名]を被告として提起することができます。 なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後（次の1から3までのいずれかに該当するときは除く。）でなければ提起することができないこととされています。 1 審査請求があった日から3か月を経過しても裁決がないとき。 2 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。 3 その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。
23		〒	●			「〒」の文言を出力
24		不服申立先担当部署郵便番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定
25		不服申立先担当部署住所	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定
26		TEL	●			「TEL」の文言を出力
27		不服申立先担当部署電話番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定

郵便番号	郵便番号	二次元コード	郵便番号	二次元コード
住所	住所		住所	
方書	方書		方書	
氏名	氏名		氏名	
対象者氏名	対象者氏名		対象者氏名	
		(対象者番号)		
郵便番号	郵便番号	二次元コード	郵便番号	二次元コード
住所	住所		住所	
方書	方書		方書	
氏名	氏名		氏名	
対象者氏名	対象者氏名		対象者氏名	
		(対象者番号)		
郵便番号	郵便番号	二次元コード	郵便番号	二次元コード
住所	住所		住所	
方書	方書		方書	
氏名	氏名		氏名	
対象者氏名	対象者氏名		対象者氏名	
		(対象者番号)		
郵便番号	郵便番号	二次元コード	郵便番号	二次元コード
住所	住所		住所	
方書	方書		方書	
氏名	氏名		氏名	
対象者氏名	対象者氏名		対象者氏名	
		(対象者番号)		
郵便番号	郵便番号	二次元コード	郵便番号	二次元コード
住所	住所		住所	
方書	方書		方書	
氏名	氏名		氏名	
対象者氏名	対象者氏名		対象者氏名	
		(対象者番号)		
郵便番号	郵便番号	二次元コード	郵便番号	二次元コード
住所	住所		住所	
方書	方書		方書	
氏名	氏名		氏名	
対象者氏名	対象者氏名		対象者氏名	
		(対象者番号)		
郵便番号	郵便番号	二次元コード	郵便番号	二次元コード
住所	住所		住所	
方書	方書		方書	
氏名	氏名		氏名	
対象者氏名	対象者氏名		対象者氏名	
		(対象者番号)		

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	01. 共通		帳票名称		02 宛名シール印刷用帳票	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
1	1人目	郵便番号	●			送付先＞転出先住所＞現住所の優先順位で設定を行う
2		住所	●			送付先＞転出先住所＞現住所の優先順位で設定を行う
3		方書	●			送付先＞転出先住所＞現住所の優先順位で設定を行う
4		氏名	●			送付先＞転出先住所＞現住所の優先順位で設定を行う 機能・帳票要件（敬称付与機能）のとおりに、敬称を付けること
5		対象者氏名		●		パラメタにより出力有無を変更でき、氏名に本人以外（送付先や家族等）の値が設定されている場合は、本人氏名を下記の編集条件で印字する ”（”＋氏名＋全角スペース＋” 様分）”
6		カスタマバーコード	●			
7		対象者番号		●		対象者やその他の送付物との結び付け用、送付前引き抜き用の番号 利用する番号は、1からの連番、宛名番号や被保険者番号等、結び付けや特定が可能な番号とする パラメタにより出力有無を変更できること
8			二次元コード		●	
9	2人目	郵便番号	●			
10		住所	●			
11		方書	●			
12		氏名	●			編集条件は1人目の記載と同じ
13		対象者氏名		●		編集条件は1人目の記載と同じ
14		カスタマバーコード	●			
15		対象者番号		●		編集条件は1人目の記載と同じ
16			二次元コード		●	
17	・・・					
18	14人目	郵便番号	●			
19		住所	●			
20		方書	●			
21		氏名	●			編集条件は1人目の記載と同じ
22		対象者氏名		●		編集条件は1人目の記載と同じ
23		カスタマバーコード	●			
24		対象者番号		●		編集条件は1人目の記載と同じ
25			二次元コード		●	
26	15人目以降は改ページする		●			※出力できる対象者数（枚数）に合わせて改ページすること

通知書番号

発行年月日

適合基準日：令和8年4月1日※
※子ども・子育て支援金対応に係る帳票出力項目については、令和8年4月1日又は令和8年度に各地方公共団体において、最初に高齢者の医療の確保に関する法律第104条第2項の規定に基づき保険料の賦課額を決定する日のいずれか遅い日までに、実装を求めることとする。

広域連合の名称

印

郵便還付先

窓あき宛名

タイトル1

相当年度

案内文1

相当年度

被保険者氏名		被保険者番号	
性別		生年月日	
住所			
決定年月日		保険料額タイトル1 円	
決定（変更）理由			
案内文2 広域連合 都道府県			
算定基礎タイトル			

区分		①保険料計算のもととなる所得	②所得割合	③所得割額 (①×②)	④均等割額	⑤算出額 (③+④)	⑥限度額を超える額		
区分1	医療分								
	子ども分								
区分2	医療分								
	子ども分								
区分		⑦所得割 軽減額	均等割 軽減割合	⑧均等割 軽減額	⑨年間保険料額 (⑤-⑥-⑦-⑧)	月数	⑩月割減額	保険料額 タイトル2 保険料の 端数処理	
区分3	医療分								
	子ども分								
区分4	医療分								
	子ども分								
案内文3									
区分		⑪均等割額	均等割 軽減割合	⑫均等割 軽減額	⑬年間保険料額 (⑪-⑫)	月数	⑭月割減額		減免額タイトル
区分5	医療分								
	子ども分								
区分6	医療分								
	子ども分								
タイトル2 相当年度									

自治体の名称

印

案内文4

相当年度

決定(変更)理由	
徴収決定年月日	
自治体別保険料額 タイトル	円
案内文5 保険料増減額	
納付方法タイトル1	
納付方法	納付方法2
特別徴収義務者	
特別徴収対象年金	
特別徴収年金給付額	
備考 (固定文言1)	固定文言3 + 編集2

【期別保険料額】

期別・月		区分7		区分8		納期限
		普通徴収	特別徴収	普通徴収	特別徴収	
普1	4月					
普2	5月					
普3	6月					
普4	7月					
普5	8月					
普6	9月					
普7	10月					
普8	11月					
普9	12月					
普10	1月					
普11	2月					
普12	3月					
普徴期13						
普徴期14						
普徴期15						
合計額						

説明文

窓あき宛名

広域連合の名称

印

郵便還付先

タイトル1 相当年度

案内文1 相当年度

被保険者氏名		被保険者番号	
性別		生年月日	
住所			
決定年月日		保険料額タイトル1	円
決定（変更）理由			

案内文2 広域連合 都道府県

算定基礎タイトル

区分		①保険料計算のもととなる所得	②所得割合	③所得割額 (①×②)	④均等割額	⑤算出額 (③+④)	⑥限度額を超える額	
区分 1	医療分							
	子ども分							
区分 2	医療分							
	子ども分							
区分		⑦所得割 軽減額	均等割 軽減割合	⑧均等割 軽減額	⑨年間保険料額 (⑤-⑥-⑦-⑧)	月 数	⑩月割 減額	保険料額 タイトル 2
区分 3	医療分							
	子ども分							
区分 4	医療分							
	子ども分							

案内文3

区分		⑪均等割額	均等割 軽減割合	⑫均等割 軽減額	⑬年間保険料額 (⑪-⑫)	月数	⑭月割 減額	減免額タイトル
区分5	医療分							
	子ども分							
区分6	医療分							
	子ども分							

説明文

タイトル2 相当年度

自治体の名称

印

案内文4 相当年度

被保険者氏名		被保険者番号	
--------	--	--------	--

納付方法タイトル1

納付方法	納付方法2	決定(変更) 理由	
特別徴収 義務者			
特別徴収 対象年金		徴収決定年月日	
特別徴収 年金給付額		自治体別保険料額 タイトル	円
備考 (固定文言1)	固定文言3 + 編集2	案内文5 保険料増減額	

【期別保険料額】

期別・月	区分7		区分8		納期限
	普通徴収	特別徴収	普通徴収	特別徴収	
普1 4月					
普2 5月					
普3 6月					
普4 7月					
普5 8月					
普6 9月					
普7 10月					
普8 11月					
普9 12月					
普10 1月					
普11 2月					
普12 3月					
普徴期13					
普徴期14					
普徴期15					
合計額					

説明文

※本帳票の出力方法（片面・両面、ページ順、用紙サイズ（A4/A3）等）については、ベンダの創意工夫に委ねるものとし、標準化の対象外としている。なお、本帳票と同様のレイアウトとなる帳票（A3 用紙）の実装を妨げるものではない。

また、説明文欄の出力順及び出力枚数については、帳票の印刷方式（両面・片面）及び実務等を考慮し、各ベンダの創意工夫により実装するものとする

（片面の場合と両面の場合とで各ページの出力順が異なることや、説明文欄が 1 ページで完結する場合 2 ページ目が出力不要となること等を想定している）。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	タイトル1 [相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） （印字例1：賦課決定通知） [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料額 決定通知書 （印字例2：賦課変更決定通知） [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料額 変更決定通知書
2	通知書番号	●			先頭に“通知書番号：”を付与すること
3	発行年月日	●			和暦表記 先頭に“発行年月日：”を付与すること
4	窓あき宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
5	郵便還付先		●		パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
6	案内文1 [相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） （印字例：賦課決定通知、賦課変更決定通知） [相当年度]年度分の後期高齢者医療保険料額を次のとおり決定（変更）しましたので通知します。
7	広域連合の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 広域連合＋広域連合長名 広域連合名の出力有無を変更できること 広域連合長名は機能・帳票要件（広域連合長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
8	広域連合の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること 広域連合長の公印を出力する（年額通知部分のため）
9	被保険者氏名	●			
10	被保険者番号	●			
11	性別	●			被保険者の性別
12	生年月日	●			被保険者の生年月日
13	住所	●			被保険者の住所 住所＋全角スペース＋方書

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
14	決定年月日	●			和暦表記 決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 決定年月日 （印字例：賦課変更決定通知） 決定年月日 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
15	保険料額タイトル1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること（以下の例は印字を打ち分けるのではなくユーザが運用に応じて設定） （印字例：減免無し） ⑮保険料額 （印字例：減免有り） ⑯保険料額
16	保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 保険料額 （印字例：賦課変更決定通知） 保険料額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
17	決定（変更）理由	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 決定理由 （印字例：賦課変更決定通知） 変更理由 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
18	案内文 2 [広域連合][都道府県]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [広域連合]：システム印字項目 [都道府県]：システム印字項目 (印字例) ※保険料額は、[広域連合]内においての保険料額です。このため[都道府県]内で転居された方は原則として複数の市区町村にお支払いいただくことになります。
19	算定基礎タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 保険料計算の内訳（算定方法は裏面をご覧ください）
20	保険料算定の基礎 1 上段	区分 1		●		決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “決定” (印字例：賦課変更決定通知) “変更後” (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
21		医療分	所得金額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 所得金額 (印字例：賦課変更決定通知) 所得金額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
22						決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の所得割率 (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の所得割率 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
23			所得割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 医療分の所得割額 （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の所得割額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
24			均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 医療分の均等割額 （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の均等割額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
25			算出額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 医療分の算出額 （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の算出額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
26			限度超過額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 医療分の限度超過額 （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の限度超過額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
27		子ども分	所得金額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 所得金額 （印字例：賦課変更決定通知） 所得金額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
28			所得割率	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 子ども分の所得割率 （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の所得割率 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
29			所得割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 子ども分の所得割額 （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の所得割額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
30			均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 子ども分の均等割額 （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の均等割額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
31			算出額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 子ども分の算出額 （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の算出額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
32			限度超過額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 子ども分の限度超過額 （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の限度超過額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
33	保険料算定の基礎 2 上段	区分 3		●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “決定” （印字例：賦課変更決定通知） “変更後” （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
34		医療分	所得割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 医療分の所得割軽減額 （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の所得割軽減額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
35			均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の均等割軽減割合 (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の均等割軽減割合 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
36			均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の均等割軽減額 (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の均等割軽減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
37			年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の年保険料額 (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の年保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
38			月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の月数 (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の月数 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
39			月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 医療分の月割減額 （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の月割減額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
40			保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 医療分の保険料額 （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の保険料額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
41		子ども分	所得割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 子ども分の所得割軽減額 （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の所得割軽減額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
42			均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 子ども分の均等割軽減割合 （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の均等割軽減割合 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
43			均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 子ども分の均等割軽減額 （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の均等割軽減額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
44			年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 子ども分の年保険料額 （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の年保険料額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
45			月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 子ども分の月数 （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の月数 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
46			月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 子ども分の月割減額 （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の月割減額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
47			保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 子ども分の保険料額 （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の保険料額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
48	保険料算定の基礎 1 下段	区分 2		●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） “変更前” （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
49		医療分	所得金額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 変更前所得金額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
50			所得割率	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の変更前所得割率 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課			帳票名称			01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など	
				必須	オプション	不可		
51			所得割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の変更前所得割額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”	
52			均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の変更前均等割額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”	
53			算出額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の変更前算出額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”	
54			限度超過額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の変更前限度超過額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”	

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
55	子ども分		所得金額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 変更前所得金額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) "*"
56			所得割率	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前所得割率 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) "*"
57			所得割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前所得割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) "*"
58			均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前均等割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) "*"

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
59			算出額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の変更前算出額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
60			限度超過額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の変更前限度超過額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
61	保険料算定の基礎 2 下段	区分 4		●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） “変更前” （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
62		医療分	所得割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の変更前所得割軽減額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
63			均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前均等割軽減割合 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”
64			均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前均等割軽減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”
65			年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前年保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”
66			月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前月数 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
67			月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の変更前月割減額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
68			保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の変更前保険料額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
69		子ども分	所得割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の変更前所得割軽減額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
70			均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の変更前均等割軽減割合 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
71			均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の変更前均等割軽減額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
72			年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の変更前年保険料額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
73			月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の変更前月数 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
74			月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の変更前月割減額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
75			保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の変更前保険料額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
76	保険料額タイトル2			●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること（以下の例は印字を打ち分けるのではなくユーザが運用に応じて設定） （印字例：減免無し） ⑮保険料額※（⑨＋⑬－⑩－⑭） （印字例：減免有り） ⑯保険料額※（⑨＋⑬－⑩－⑭－⑮）
77	保険料の端数処理			●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） ※100円未満切捨て
78	案内文3			●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている かつ 被用者保険の被扶養者軽減の場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） 後期高齢者医療制度加入日の前日まで会社の健康保険など（国保・国保組合は除く）の被扶養者だった方は、加入月から2年を経過する月までの間、下の表に表示される金額が本年度分の保険料算定に含まれます。
79	減免額	減免額タイトル			●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） ⑮減免額

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
80	保険料算定の基礎 被扶養者軽減 上段	区分 5		●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “決定” （印字例：賦課変更決定通知） “変更後” （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
81		医療分	均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 医療分の均等割額（被扶養者） （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の均等割額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
82			均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 医療分の均等割軽減割合（被扶養者） （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の均等割軽減割合（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
83			均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 医療分の均等割軽減額（被扶養者） （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の均等割軽減額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
84			年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 医療分の年保険料額（被扶養者） （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の年保険料額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
85			月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 医療分の月数（被扶養者） （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の月数（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
86			月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 医療分の月割減額（被扶養者） （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の月割減額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
87		子ども分	均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 子ども分の均等割額（被扶養者） （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の均等割額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
88			均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の均等割軽減割合（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の均等割軽減割合（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
89			均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の均等割軽減額（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の均等割軽減額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
90			年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の年保険料額（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の年保険料額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
91			月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の月数（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の月数（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課			帳票名称			01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
	通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
				必須	オプション	不可		
	92		月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 子ども分の月割減額（被扶養者） （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の月割減額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”	
	93	減免額	減免額		●		決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 減免額 （印字例：賦課変更決定通知） 減免額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”	
	94	保険料算定の基礎 被扶養者軽減 下段	区分 6	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） “変更前” （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”	
	95		医療分	均等割額	●		決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の変更前均等割額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”	

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
96			均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の変更前均等割軽減割合（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
97			均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の変更前均等割軽減額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
98			年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の変更前年保険料額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
99			月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の変更前月数（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
100	子ども分		月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の変更前月割減額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
101			均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の変更前均等割額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
102			均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の変更前均等割軽減割合（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
103			均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の変更前均等割軽減額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課			帳票名称			01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など	
				必須	オプション	不可		
104			年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前年保険料額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"	
105			月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前月数（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"	
106			月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) "*" (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前月割減額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"	
107	減免額	減免額			●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 減免額 (印字例：賦課変更決定通知) 減免額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) "*"	

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
108	タイトル2 [相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） （印字例1：納入通知） [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 （印字例2：変更通知） [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 納入通知書 兼 特別徴収額変更・中止通知書
109	自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体+首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
110	自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること 登録されている自治体の長（もしくは職務代理人）の公印
111	案内文4 [相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） （印字例：納入通知） [相当年度]年度分の後期高齢者医療保険料額を次のとおり徴収することに決定しましたので通知します。 （印字例：変更通知） [相当年度]年度分の後期高齢者医療保険料額について次のとおり徴収額を変更しましたので通知します。
112	被保険者氏名	●			通番9と同じ内容を出力できること
113	被保険者番号	●			通番10と同じ内容を出力できること
114	徴収決定年月日	●			和暦表記
115	自治体別保険料額タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） 自自治体に納付する保険料額（A）+（B）
116	自治体別保険料額	●			
117	決定(変更)理由	●			

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
118	案内文 5 [保険料増減額]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること [保険料増減額]：システム印字項目 (印字例：変更通知) 前回通知からの保険料額の差額は[保険料増減額]円です。
119	特別徴収期割額 上段 ※【期別保険料額】 区分 7 ー特別徴収列	区分 7	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：納入通知) “決定” (印字例：変更通知) “変更後”
120		特徴 1 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴 1 期保険料額 (変更通知) 特徴 1 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する
121		特徴 2 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴 2 期保険料額 (変更通知) 特徴 2 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する
122		特徴 3 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (納入通知) 特徴 3 期保険料額 (変更通知) 特徴 3 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
123		特徴 4 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 特徴 4 期保険料額 （変更通知） 特徴 4 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する
124		特徴 5 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 特徴 5 期保険料額 （変更通知） 特徴 5 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する
125		特徴 6 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 特徴 6 期保険料額 （変更通知） 特徴 6 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する
126		特徴合計額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 特徴保険料合計額 （変更通知） 特徴保険料合計額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する
127	特別徴収期割額 下段 ※【期別保険料額】 区分 8－特別徴収列	区分 8	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること （印字例：納入通知） “*” （印字例：変更通知） “変更前”

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
128		特徴 1 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前特徴 1 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する
129		特徴 2 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前特徴 2 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する
130		特徴 3 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前特徴 3 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する
131		特徴 4 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前特徴 4 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する
132		特徴 5 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前特徴 5 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
133		特徴 6 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前特徴 6 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する
134		特徴合計額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前特徴保険料合計額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する
135	案内文 6		●			本様式の場合、説明文への記載とする 文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） ◆世帯の構成や所得に変更が無い場合、翌年度の仮徴収額は 2 月（特徴 6 期）の金額と同額です。（仮徴収額…4/6/8月に仮で引き落とす予定の額を指します。）
136	納付方法タイトル 1		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） あなた様の納付方法は下記のとおりです。
137	備考（固定文言 1）		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 普通徴収分口座情報

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課		帳票名称			01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
	通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
	138	納付方法 変更後	納付方法 2	●			変更後期割内容によって文言マスタに設定された以下の内容を印字すること （印字例：特徴のみ） “年金からの支払い（特徴）” （印字例：普徴のみ口座なし） “納付書払い（普徴）” （印字例：普徴のみ口座あり（全期振替の場合）） “口座振替（全期前納引落）（普徴）” （印字例：普徴のみ口座あり（期別振替の場合）） “口座振替（期別引落）（普徴）” （印字例：併徴かつ口座なし） “年金（特徴）と納付書（普徴）での支払い” （印字例：併徴かつ口座あり） “年金（特徴）と口座振替（普徴）での支払い”
	139		特別徴収義務者	●			変更後期割内容によって以下の内容を印字すること （印字例：特徴期あり） 特別徴収義務者 （印字例：特徴期なし） “*”
	140		特別徴収対象年金	●			変更後期割内容によって以下の内容を印字すること （印字例：特徴期あり） 特別徴収対象年金 （印字例：特徴期なし） “*”
	141		特別徴収年金給付額	●			変更後期割内容によって以下の内容を印字すること （印字例：特徴期あり） 特別徴収年金給付額 （印字例：特徴期なし） “*”
	142		固定文言 3 + 編集 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること 口座番号は機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする （想定される印字項目） 金融機関名、支店名、口座名義人、口座種目、口座番号 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
143	案内文 7 [発行年月日]	●			本様式の場合、説明文への記載とする 文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [発行年月日]：システム印字項目（和暦表記） （印字例） ◆口座情報は、通知日（[発行年月日]）時点にご登録のある口座を記載しています。また、口座名義人は先頭から20文字を記載しています。◆特徴…「特別徴収」年金から支払われます。普徴…「普通徴収」口座振替もしくは納付書のうち、納付方法に記載されている方法で支払われます。
144	普徴期 1 タイトル	●			システム設定により、普徴開始期から以下の例のようにシステムにて編集した文言を普徴期 1 から印字すること （各市区町村の納期に応じてタイトルを設定（不要な箇所は空欄）できること） （印字例） 1 期、2 期、3 期、4 期、5 期、6 期、7 期、8 期、9 期、1 0 期、 1 1 期、1 2 期
145	普徴期 2 タイトル	●			
146	普徴期 3 タイトル	●			
147	普徴期 4 タイトル	●			
148	普徴期 5 タイトル	●			
149	普徴期 6 タイトル	●			
150	普徴期 7 タイトル	●			
151	普徴期 8 タイトル	●			
152	普徴期 9 タイトル	●			
153	普徴期 1 0 タイトル	●			
154	普徴期 1 1 タイトル	●			
155	普徴期 1 2 タイトル	●			

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
156	普徴期 1 3 タイトル（過年分）		●			相当年度が同一で、相当年度の4月～3月の納期に該当しない対象（出納閉鎖期間・過年度の増額賦課により作成）について、以下の例のように文言を印字すること （例1）随時 1期 （例2）過年 1期 ※4つ以上の期別が発生した場合は、通知を複数頁（説明文の印刷頁を含まず）とする
157	普徴期 1 4 タイトル（過年分）		●			
158	普徴期 1 5 タイトル（過年分）		●			
159	納期限	普徴期 1 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 1 あり） 普通徴収期 1 納期限 （普通徴収期 1 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 1 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する
160		普徴期 2 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 2 あり） 普通徴収期 2 納期限 （普通徴収期 2 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 2 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する
161		普徴期 3 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 3 あり） 普通徴収期 3 納期限 （普通徴収期 3 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 3 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する
162		普徴期 4 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 4 あり） 普通徴収期 4 納期限 （普通徴収期 4 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 4 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
163		普徴期 5 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 5 あり） 普通徴収期 5 納期限 （普通徴収期 5 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 5 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する
164		普徴期 6 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 6 あり） 普通徴収期 6 納期限 （普通徴収期 6 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 6 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する
165		普徴期 7 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 7 あり） 普通徴収期 7 納期限 （普通徴収期 7 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 7 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する
166		普徴期 8 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 8 あり） 普通徴収期 8 納期限 （普通徴収期 8 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 8 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する
167		普徴期 9 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 9 あり） 普通徴収期 9 納期限 （普通徴収期 9 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 9 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する
168		普徴期 1 0 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 1 0 あり） 普通徴収期 1 0 納期限 （普通徴収期 1 0 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 1 0 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
169		普徴期 1 1 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 1 1 あり） 普通徴収期 1 1 納期限 （普通徴収期 1 1 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 1 1 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する
170		普徴期 1 2 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 1 2 あり） 普通徴収期 1 2 納期限 （普通徴収期 1 2 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 1 2 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する
171		普徴期 1 3 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 1 3 あり） 普通徴収期 1 3 納期限 （普通徴収期 1 3 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 1 3 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の納期限を印字する
172		普徴期 1 4 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 1 4 あり） 普通徴収期 1 4 納期限 （普通徴収期 1 4 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 1 4 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の納期限を印字する
173		普徴期 1 5 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 1 5 あり） 普通徴収期 1 5 納期限 （普通徴収期 1 5 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 1 5 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の納期限を印字する
174	普通徴収期割額 上段 ※【期別保険料額】 区分 7－普通徴収列	普徴期 1 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 1 保険料額 （変更通知） 普徴期 1 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
175		普徴期 2 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 2 保険料額 （変更通知） 普徴期 2 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 2 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する
176		普徴期 3 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 3 保険料額 （変更通知） 普徴期 3 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 3 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する
177		普徴期 4 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 4 保険料額 （変更通知） 普徴期 4 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 4 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する
178		普徴期 5 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 5 保険料額 （変更通知） 普徴期 5 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 5 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する
179		普徴期 6 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 6 保険料額 （変更通知） 普徴期 6 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 6 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課		帳票名称			01	保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
	通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
	180	普徴期 7 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 7 保険料額 （変更通知） 普徴期 7 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 7 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する	
	181	普徴期 8 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 8 保険料額 （変更通知） 普徴期 8 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 8 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する	
	182	普徴期 9 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 9 保険料額 （変更通知） 普徴期 9 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 9 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する	
	183	普徴期 1 0 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 1 0 保険料額 （変更通知） 普徴期 1 0 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 0 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する	
	184	普徴期 1 1 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 1 1 保険料額 （変更通知） 普徴期 1 1 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 1 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する	

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
185		普徴期 1 2 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 1 2 保険料額 （変更通知） 普徴期 1 2 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 2 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する
186		普徴期 1 3 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 1 3 保険料額 （変更通知） 普徴期 1 3 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 3 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の保険料額を印字する
187		普徴期 1 4 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 1 4 保険料額 （変更通知） 普徴期 1 4 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 4 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の保険料額を印字する
188		普徴期 1 5 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 1 5 保険料額 （変更通知） 普徴期 1 5 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 5 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の保険料額を印字する
189		普徴合計額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴保険料合計額 （変更通知） 普徴保険料合計額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
190	普通徴収期割額 下段 ※【期別保険料額】 区分8－普通徴収列	普徴期1 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴期1 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期1 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する
191		普徴期2 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴期2 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期2 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する
192		普徴期3 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴期3 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期3 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する
193		普徴期4 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴期4 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期4 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する
194		普徴期5 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴期5 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期5 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
195		普徴期 6 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴期 6 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 6 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する
196		普徴期 7 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴期 7 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 7 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する
197		普徴期 8 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴期 8 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 8 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する
198		普徴期 9 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴期 9 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 9 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する
199		普徴期 1 0 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴期 1 0 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 0 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
200		普徴期 1 1 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴期 1 1 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 1 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する
201		普徴期 1 2 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴期 1 2 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 2 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する
202		普徴期 1 3 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴通常期 1 3 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 3 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する
203		普徴期 1 4 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴通常期 1 4 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 4 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する
204		普徴期 1 5 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴通常期 1 5 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 5 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式①（A4）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
205		普徴合計額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴保険料合計額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する
206	案内文 8		●			本様式の場合、説明文への記載とする 文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） ◆納期限は各月末日です。（金融機関が休みのときは、翌営業日）。なお、口座振替は納期限が引落日になります。
207	案内文 9		●			本様式の場合、説明文への記載とする 文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） ◆区分に「過年」の記載がある場合は、お支払いいただく年度が過ぎて保険料が決定した分です。
208	ページ数		●			最終ページ（説明文の印刷ページ）を含むページ数
209	総ページ数		●			最終ページ（説明文の印刷ページ）を含む総ページ数
210	説明文		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、通知書の最終頁としてA3様式の説明文に設定される文言を印字すること （※案内文 6～9 はA4様式の場合は説明文への記載とする）

省令第5条第3号関係 適用基準日：令和8年4月1日※
※子ども・子育て支援金対応に係る帳票出力項目については、令和8年4月1日又は令和8年度に各地方公共団体において、最初に高齢者の医療の確保に関する法律第104条第2項の規定に基づき保険料の賦課額を決定する日のいずれか遅い日までに、実装を求めることとする。

窓あき宛名

通知書番号

発行年月日

案内文 3

郵便還付先

この通知の対象者

被保険者氏名				被保険者番号	
性別		生年月日			
住所					

タイトル1 相当年度

印

広域連合の名称

案内文 1

相当年度

決定年月日		保険料額タイトル1	円
決定(変更)理由			

案内文 2

広域連合 都道府県

算定基礎タイトル

	①保険料計算の もととなる所得	②所得 割率	③所得割 (①×②)	④均等 割額	⑤算出額 (③+④)	⑥限度額を 超える額
医療分						
子ども分						

	⑦所得割 軽減額	均等割 軽減割合	⑧均等割 軽減額	⑨年間保険料額 (⑤-⑥-⑦-⑧)	月数	⑩月割 減額	保険料額 タイトル2
医療分							
子ども分							

保険料の端数処理

タイトル2 相当年度

印

自治体の名称

案内文 4

相当年度

徴収決定年月日		自治体別保険料額タイトル	円
決定（変更）理由			

納付方法タイトル 1

納付方法	納付方法 2
徴収義務のある者	
対象の年金	
特別徴収年金給付額	

特別徴収期割額タイトル

4 月 (1 期)	6 月 (2 期)	8 月 (3 期)	10 月 (4 期)	12 月 (5 期)	2 月 (6 期)	特徴合計 タイトル

案内文 6

保険料の計算方法タイトル

保険料の計算方法本文

審査請求タイトル

審査請求本文

不服申立先担当部署名

不服申立先担当自治体名

問い合わせ先タイトル1

問い合わせ先案内文1

問い合わせ先タイトル2

問い合わせ先案内文2

タイトル1

担当部署

担当部署名1

住所

担当部署住所1

電話番号

担当部署電話番号1

担当部署FAX番号1

担当部署メール1

問い合わせ先タイトル3

問い合わせ先案内文3

タイトル2

担当部署

担当部署名2

住所

担当部署住所2

電話番号

担当部署電話番号2

担当部署FAX番号2

担当部署メール2

説明文自由領域

窓あき宛名

通知書番号

発行年月日

郵便還付先

この通知の対象者

被保険者氏名			被保険者番号	
性別		生年月日		
住所				

タイトル1相当年度

印

広域連合の名称

案内文1

相当年度

決定年月日		保険料額タイトル1	円
決定(変更)理由			

案内文2

広域連合

都道府県

算定基礎タイトル

	①保険料計算の もととなる所得	②所得 割率	③所得割額 (①×②)	④均等 割額	⑤算出額 (③+④)	⑥限度額を 超える額
医療分						
子ども分						

	⑦所得割 軽減額	均等割 軽減割合	⑧均等割 軽減額	⑨年間保険料額 (⑤-⑥-⑦-⑧)	月数	⑩月割 減額	保険料額 タイトル2
医療分							
子ども分							

保険料の端数処理

案内文3

右上へつづく▶

	⑪均等 割額	均等割 軽減割合	⑫均等割 軽減額	⑬年間保険料額 (⑪-⑫)	月数	⑭月割 減額	減免額 タイトル
医療分							
子ども分							

タイトル2相当年度

印

自治体の名称

案内文4

相当年度

徴収決定年月日		自治体別保険料額タイトル	円
決定(変更)理由			

納付方法タイトル1

納付方法	納付方法2
口座情報	固定文言3+編集2

案内文7

発行年月日

普通徴収期割額タイトル

	普徴期1	普徴期2	普徴期3	普徴期4	普徴期5
納期限					
区分9					

	普徴期6	普徴期7	普徴期8	普徴期9	普徴期10
納期限					
区分11					

	普徴期11	普徴期12	普徴期13	普徴期14	普徴合計 タイトル
納期限					
区分13					

案内文8

案内文9

裏面へつづく→

保険料の計算方法タイトル

保険料の計算方法本文

審査請求タイトル

審査請求本文

不服申立先担当部署名

不服申立先担当自治体名

問い合わせ先タイトル1

問い合わせ先案内文1

問い合わせ先タイトル2

問い合わせ先案内文2

タイトル1

担当部署

担当部署名1

住所

担当部署住所1

電話番号

担当部署電話番号1

担当部署FAX番号1

担当部署メール1

問い合わせ先タイトル3

問い合わせ先案内文3

タイトル2

担当部署

担当部署名2

住所

担当部署住所2

電話番号

担当部署電話番号2

担当部署FAX番号2

担当部署メール2

説明文自由領域

通知書番号

発行年月日

窓あき宛名

郵便還付先

この通知の対象者

被保険者氏名		被保険者番号	
性別		生年月日	
住所			

タイトル1

相当年度

印

広域連合の名称

案内文1

相当年度

決定年月日		保険料額タイトル1	円
決定（変更）理由			

案内文2

広域連合

都道府県

算定基礎タイトル

		①保険料計算の もととなる所得	②所得 割合	③所得割額 (①×②)	④均等 割額	⑤算出額 (③+④)	⑥限度額を 超える額
区分1	医療分						
	子ども分						
区分2	医療分						
	子ども分						

		⑦所得割 軽減額	均等割 軽減割合	⑧均等割 軽減額	⑨年間保険料額 (⑤-⑥-⑦-⑧)	月数	⑩月割 減額	保険料額 タイトル2
区分3	医療分							
	子ども分							
区分4	医療分							
	子ども分							

保険料の端数処理

案内文3

		⑪均等 割額	均等割 軽減割合	⑫均等割 軽減額	⑬年間保険料額 (⑪-⑫)	月数	⑭月割 減額	減免額 タイトル
区分5	医療分							
	子ども分							
区分6	医療分							
	子ども分							

タイトル2

相当年度

印

自治体の名称

案内文4

相当年度

徴収決定年月日		自治体別保険料額タイトル	円
決定（変更）理由			

案内文5

保険料増減額

納付方法タイトル1

		納付方法タイトル2	納付方法タイトル3
納付方法		納付方法1	納付方法2
特徴	徴収義務のある者		
	対象の年金		
	特別徴収年金給付額		
普通	備考（固定文言1）	固定文言2＋編集1	固定文言3＋編集2

案内文7

発行年月日

裏面へつづく→

A年金からのお支払金額、B口座からのお支払金額、納付期限を記載しています。必ずご確認ください。

特別徴収期割額タイトル

	4月 (特徴1期)	6月 (特徴2期)	8月 (特徴3期)	10月 (特徴4期)	12月 (特徴5期)	2月 (特徴6期)	特徴合計 タイトル
区分7							
区分8							

案内文6

普通徴収期割額タイトル

	普徴期1	普徴期2	普徴期3	普徴期4	普徴期5
納期限					
区分9					
区分10					

	普徴期6	普徴期7	普徴期8	普徴期9	普徴期10
納期限					
区分11					
区分12					

	普徴期11	普徴期12	普徴期13	普徴期14	普徴合計 タイトル
納期限					
区分13					
区分14					

案内文8

案内文9

保険料の計算方法タイトル

保険料の計算方法本文

保険料の計算方法本文

審査請求タイトル

審査請求本文

不服申立先担当部署名

不服申立先担当自治体名

問い合わせ先タイトル1

問い合わせ先案内文1

問い合わせ先タイトル2

問い合わせ先案内文2

タイトル1

担当部署

担当部署名1

住所

担当部署住所1

電話番号

担当部署電話番号1

担当部署FAX番号1

担当部署メール1

問い合わせ先タイトル3

問い合わせ先案内文3

タイトル2

担当部署

担当部署名2

住所

担当部署住所2

電話番号

担当部署電話番号2

担当部署FAX番号2

担当部署メール2

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	タイトル1 [相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） （印字例1：賦課決定通知） [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料額 決定通知書 （印字例2：賦課変更決定通知） [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料額 変更決定通知書
2	通知書番号	●			先頭に“通知書番号：”を付与すること
3	発行年月日	●			和暦表記 先頭に“発行年月日：”を付与すること
4	窓あき宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
5	郵便還付先		●		パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
6	被保険者氏名	●			
7	被保険者番号	●			
8	性別	●			被保険者の性別
9	生年月日	●			被保険者の生年月日
10	住所	●			被保険者の住所 住所＋全角スペース＋方書
11	案内文1 [相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） （印字例：賦課決定通知、賦課変更決定通知） [相当年度]年度分の後期高齢者医療保険料額を次のとおり決定（変更）しましたので通知します。
12	広域連合の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 広域連合＋広域連合長名 広域連合名の出力有無を変更できること 広域連合長名は機能・帳票要件（広域連合長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
13	広域連合の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容出力すること 広域連合長の公印を出力する（年額通知部分のため）
14	決定年月日	●			和暦表記 決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 決定年月日 （印字例：賦課変更決定通知） 決定年月日 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
15	保険料額タイトル1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること（以下の例は印字を打ち分けるのではなくユーザが運用に応じて設定） （印字例：減免無し） ⑮保険料額 （印字例：減免有り） ⑯保険料額
16	保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 保険料額 （印字例：賦課変更決定通知） 保険料額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
17	決定（変更）理由	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 決定理由 （印字例：賦課変更決定通知） 変更理由 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
18	案内文 2 [広域連合][都道府県]			●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [広域連合]：システム印字項目 [都道府県]：システム印字項目 (印字例) ※保険料額は、[広域連合]内においての保険料額です。このため[都道府県]内で転居された方は原則として複数の市区町村にお支払いいただくことになります。
19	算定基礎タイトル			●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) 保険料計算の内訳（計算方法は裏面をご覧ください）
20	保険料算定の基礎 1 上段	区分 1		●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “決定” (印字例：賦課変更決定通知) “変更後” (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
21		医療分	所得金額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 所得金額 (印字例：賦課変更決定通知) 所得金額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
22			所得割率	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の所得割率 (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の所得割率 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
23			所得割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 医療分の所得割額 （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の所得割額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
24			均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 医療分の均等割額 （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の均等割額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
25			算出額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 医療分の算出額 （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の算出額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
26			限度超過額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 医療分の限度超過額 （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の限度超過額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
27		子ども分	所得金額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 所得金額 （印字例：賦課変更決定通知） 所得金額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
28			所得割率	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 子ども分の所得割率 （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の所得割率 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
29			所得割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 子ども分の所得割額 （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の所得割額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
30			均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 子ども分の均等割額 （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の均等割額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
31			算出額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 子ども分の算出額 （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の算出額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
32			限度超過額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 子ども分の限度超過額 （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の限度超過額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
33	保険料算定の基礎 2 上段	区分 3		●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “決定” （印字例：賦課変更決定通知） “変更後” （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
34		医療分	所得割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 医療分の所得割軽減額 （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の所得割軽減額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
35			均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 医療分の均等割軽減割合 （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の均等割軽減割合 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
36			均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 医療分の均等割軽減額 （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の均等割軽減額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
37			年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 医療分の年保険料額 （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の年保険料額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
38			月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 医療分の月数 （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の月数 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
39			月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 医療分の月割減額 （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の月割減額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
40			保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 医療分の保険料額 （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の保険料額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
41		子ども分	所得割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 子ども分の所得割軽減額 （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の所得割軽減額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
42			均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 子ども分の均等割軽減割合 （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の均等割軽減割合 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
43			均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 子ども分の均等割軽減額 （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の均等割軽減額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
44			年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 子ども分の年保険料額 （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の年保険料額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
45			月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 子ども分の月数 （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の月数 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
46			月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 子ども分の月割減額 （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の月割減額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
47			保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 子ども分の保険料額 （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の保険料額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
48	保険料算定の基礎 1 下段	区分 2		●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） “変更前” （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
49		医療分	所得金額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 変更前所得金額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
50			所得割率	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の変更前所得割率 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
51			所得割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前所得割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”
52			均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前均等割額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”
53			算出額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前算出額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”
54			限度超過額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前限度超過額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
55		子ども分	所得金額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 変更前所得金額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
56			所得割率	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の変更前所得割率 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
57			所得割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の変更前所得割額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
58			均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の変更前均等割額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
59			算出額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の変更前算出額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
60			限度超過額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の変更前限度超過額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
61	保険料算定の基礎 2 下段	区分 4		●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） “変更前” （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
62		医療分	所得割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の変更前所得割軽減額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
63			均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前均等割軽減割合 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”
64			均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前均等割軽減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”
65			年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前年保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”
66			月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の変更前月数 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
67			月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の変更前月割減額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
68			保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の変更前保険料額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
69		子ども分	所得割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の変更前所得割軽減額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
70			均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の変更前均等割軽減割合 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
71			均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前均等割軽減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”
72			年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前年保険料額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”
73			月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前月数 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”
74			月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の変更前月割減額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外) “*”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
75			保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の変更前保険料額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
76	保険料額タイトル2			●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること（以下の例は印字を打ち分けるのではなくユーザが運用に応じて設定） （印字例：減免無し） ⑮保険料額※（⑨＋⑬－⑩－⑭） （印字例：減免有り） ⑯保険料額※（⑨＋⑬－⑩－⑭－⑮）
77	保険料の端数処理			●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） ※100円未満切捨て
78	案内文3			●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている かつ 被用者保険の被扶養者軽減の場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例：賦課決定通知（併徴）、賦課変更決定通知） 後期高齢者医療制度加入日の前日まで会社の健康保険など（国保・国保組合は除く）の被扶養者だった方は、加入月から2年を経過する月までの間、下の表に表示される金額が本年度分の保険料算定に含まれます。 （印字例：賦課決定通知（特徴、普徴）） 後期高齢者医療制度加入日の前日まで会社の健康保険など（国保・国保組合は除く）の被扶養者だった方は、加入月から2年を経過する月までの間、右上の表に表示される金額が本年度分の保険料算定に含まれます。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
79	減免額	減免額タイトル		●		文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) ⑮減免額
80	保険料算定の基礎 被扶養者軽減 上段	区分 5	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “決定” (印字例：賦課変更決定通知) “変更後” (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
81		医療分				決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の均等割額（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の均等割額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
82		均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 医療分の均等割軽減割合（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 医療分の均等割軽減割合（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
83			均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 医療分の均等割軽減額（被扶養者） （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の均等割軽減額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
84			年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 医療分の年保険料額（被扶養者） （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の年保険料額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
85			月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 医療分の月数（被扶養者） （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の月数（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
86			月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 医療分の月割減額（被扶養者） （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の月割減額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
87		子ども分	均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 子ども分の均等割額（被扶養者） （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の均等割額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
88			均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 子ども分の均等割軽減割合（被扶養者） （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の均等割軽減割合（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
89			均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 子ども分の均等割軽減額（被扶養者） （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の均等割軽減額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
90			年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 子ども分の年保険料額（被扶養者） （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の年保険料額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
91			月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の月数（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の月数（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
92			月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 子ども分の月割減額（被扶養者） (印字例：賦課変更決定通知) 子ども分の月割減額（被扶養者） (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
93	減免額	減免額			●		決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) 減免額 (印字例：賦課変更決定通知) 減免額 (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”
94	保険料算定の基礎 被扶養者軽減 下段	区分6		●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：賦課決定通知) “*” (印字例：賦課変更決定通知) “変更前” (印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外) “*”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
95		医療分	均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の変更前均等割額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
96			均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の変更前均等割軽減割合（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
97			均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の変更前均等割軽減額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
98			年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の変更前年保険料額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
99			月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の変更前月数（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
100			月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 医療分の変更前月割減額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
101		子ども分	均等割額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の変更前均等割額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
102			均等割軽減割合	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の変更前均等割軽減割合（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目			実装項目			印字編集条件など
				必須	オプション	不可	
103			均等割軽減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の変更前均等割軽減額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
104			年保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の変更前年保険料額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
105			月数	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の変更前月数（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”
106			月割減額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） “*” （印字例：賦課変更決定通知） 子ども分の変更前月割減額（被扶養者） （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1： 必要」以外） “*”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
107	減免額	減免額		●		決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：賦課決定通知） 減免額 （印字例：賦課変更決定通知） 減免額 （印字例：広域連合から連携される保険料情報の通知書発送要否フラグが「1：必要」以外） “*”
108	タイトル2 [相当年度]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） （印字例1：納入通知（特徴）） [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 （印字例2：納入通知（普徴）） [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 納入通知書 兼 普通徴収開始通知書 （印字例3：納入通知（併徴）、変更通知） [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 納入通知書 兼 特別徴収額変更・中止通知書
109	案内文4 [相当年度]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） （印字例：納入通知） [相当年度]年度分の後期高齢者医療保険料額を次のとおり徴収することに決定しましたので通知します。 （印字例：変更通知） [相当年度]年度分の後期高齢者医療保険料額について次のとおり徴収額を変更しましたので通知します。 （印字例：中止通知） [相当年度]年度分の後期高齢者医療保険料額について次のとおり徴収額を変更、特別徴収を中止しましたので通知します。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
110	自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
111	自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること 登録されている自治体の長（もしくは職務代理人）の公印
112	徴収決定年月日	●			和暦表記
113	自治体別保険料額タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例：納入通知（特徴・普徴）） 市区町村に納付する保険料額 （印字例：納入通知（併徴）、変更通知） 市区町村に納付する保険料額（A）＋（B）
114	自治体別保険料額	●			
115	決定(変更)理由	●			
116	案内文5[保険料増減額]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること [保険料増減額]：システム印字項目 （印字例：変更通知） 前回通知からの保険料額の差額は[保険料増減額]円です。
117	納付方法タイトル1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） あなたの納付方法は下記のとおりです。
118	納付方法タイトル2	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） 変 更 前
119	納付方法タイトル3	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） 変 更 後

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
120	特別徴収期割額タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） 年金からのお支払い金額（隔月）：特別徴収
121	特徴合計タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例：納入通知（特徴・普徴）） 合計額 （印字例：納入通知（併徴）、変更通知） （A）合計額
122	特別徴収期割額 上段	区分 7	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること （印字例：納入通知） “決定” （印字例：変更通知） “変更後”
123		特徴 1 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 特徴 1 期保険料額 （変更通知） 特徴 1 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する
124		特徴 2 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 特徴 2 期保険料額 （変更通知） 特徴 2 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
125		特徴3期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 特徴3期保険料額 （変更通知） 特徴3期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する
126		特徴4期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 特徴4期保険料額 （変更通知） 特徴4期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する
127		特徴5期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 特徴5期保険料額 （変更通知） 特徴5期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する
128		特徴6期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 特徴6期保険料額 （変更通知） 特徴6期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する
129		特徴合計額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 特徴保険料合計額 （変更通知） 特徴保険料合計額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
130	特別徴収期割額 下段	区分 8	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること （印字例：納入通知） “*” （印字例：変更通知） “変更前”
131		特徴 1 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前特徴 1 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する
132		特徴 2 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前特徴 2 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する
133		特徴 3 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前特徴 3 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する
134		特徴 4 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前特徴 4 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
135		特徴 5 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前特徴 5 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する
136		特徴 6 期保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前特徴 6 期保険料額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する
137		特徴合計額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前特徴保険料合計額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する
138	案内文 6		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） ◆世帯の構成や所得に変更が無い場合、翌年度の仮徴収額は 2 月（特徴 6 期）の金額と同額です。（仮徴収額…4/6/8月に仮で引き落とす予定の額を指します。）
139	備考（固定文言 1）		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （印字例） 対象の口座情報

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
140	納付方法 変更前	納付方法 1	●			変更前期割内容によって文言マスタに設定された以下の内容を印字すること （印字例：特徴のみ） “年金からの支払い（特徴）” （印字例：普徴のみ口座なし） “納付書払い（普徴）” （印字例：普徴のみ口座あり（全期振替の場合）） “口座振替（全期前納引落）（普徴）” （印字例：普徴のみ口座あり（期別振替の場合）） “口座振替（期別引落）（普徴）” （印字例：併徴かつ口座なし） “年金（特徴）と納付書（普徴）での支払い” （印字例：併徴かつ口座あり） “年金（特徴）と口座振替（普徴）での支払い”
141		特別徴収義務者	●			変更前期割内容によって以下の内容を印字すること （印字例：特徴期あり） 特別徴収義務者 （印字例：特徴期なし） “*”
142		特別徴収対象年金	●			変更前期割内容によって以下の内容を印字すること （印字例：特徴期あり） 特別徴収対象年金 （印字例：特徴期なし） “*”
143		特別徴収年金給付額	●			変更前期割内容によって以下の内容を印字すること （印字例：特徴期あり） 特別徴収年金給付額 （印字例：特徴期なし） “*”
144		固定文言 2 + 編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること 口座番号は機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする （想定される印字項目） 金融機関名、支店名、口座名義人、口座種目、口座番号 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
145	納付方法 変更後	納付方法 2	●			変更後期割内容によって文言マスタに設定された以下の内容を印字すること （印字例：特徴のみ） “年金からの支払い（特徴）” （印字例：普徴のみ口座なし） “納付書払い（普徴）” （印字例：普徴のみ口座あり（全期振替の場合）） “口座振替（全期前納引落）（普徴）” （印字例：普徴のみ口座あり（期別振替の場合）） “口座振替（期別引落）（普徴）” （印字例：併徴かつ口座なし） “年金（特徴）と納付書（普徴）での支払い” （印字例：併徴かつ口座あり） “年金（特徴）と口座振替（普徴）での支払い”
146		特別徴収義務者	●			変更後期割内容によって以下の内容を印字すること （印字例：特徴期あり） 特別徴収義務者 （印字例：特徴期なし） “*”
147		特別徴収対象年金	●			変更後期割内容によって以下の内容を印字すること （印字例：特徴期あり） 特別徴収対象年金 （印字例：特徴期なし） “*”
148		特別徴収年金給付額	●			変更後期割内容によって以下の内容を印字すること （印字例：特徴期あり） 特別徴収年金給付額 （印字例：特徴期なし） “*”
149		固定文言 3 + 編集 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること 口座番号は機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする （想定される印字項目） 金融機関名、支店名、口座名義人、口座種目、口座番号 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
150	案内文 7 [発行年月日]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [発行年月日]：システム印字項目（和暦表記） （印字例：納入通知（普徴）） ◆口座情報は、通知日（[発行年月日]）時点にご登録のある口座を記載しています。また、口座名義人は先頭から20文字を記載しています。 （印字例：納入通知（併徴）、変更通知） ◆口座情報は、通知日（[発行年月日]）時点にご登録のある口座を記載しています。また、口座名義人は先頭から20文字を記載しています。◆特徴…「特別徴収」年金から支払われます。普徴…「普通徴収」口座振替もしくは納付書のうち、納付方法に記載されている方法で支払われます。
151	普通徴収期割額タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） 口座振替の場合：銀行口座からのお支払い金額と期限：普通徴収 納付書払いの場合：毎月のお支払い金額と期限：普通徴収
152	普徴期 1 タイトル	●			システム設定により、普徴開始期から以下の例のようにシステムにて編集した文言を普徴期 1 から印字すること （各市区町村の納期に応じてタイトルを設定（不要な箇所は空欄）できること） 期別の前に“普徴”を付与すること （印字例：7月開始で通常期が8期の場合） 7月（普徴1期）、8月（普徴2期）、9月（普徴3期）、10月（普徴4期）、11月（普徴5期）、12月（普徴6期）、1月（普徴7期）、2月（普徴8期） （印字例：7月開始で通常期が8期かつ途中資格取得等により10月からの期割となった場合） 10月（普徴4期）、11月（普徴5期）、12月（普徴6期）、1月（普徴7期）、2月（普徴8期） 随時期が発生した場合は、通常期のあとに以下の例のようシステムにて編集した文言を通常期の後ろから印字する （印字例：7月開始で通常期が8期で、現年随時期が発生した場合） 7月（普徴1期）、8月（普徴2期）、9月（普徴3期）、10月（普徴4期）、11月（普徴5期）、12月（普徴6期）、1月（普徴7期）、2月（普徴8期）、3月（随時1期）
153	普徴期 2 タイトル	●			
154	普徴期 3 タイトル	●			
155	普徴期 4 タイトル	●			
156	普徴期 5 タイトル	●			
157	普徴期 6 タイトル	●			
158	普徴期 7 タイトル	●			

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
159	普徴期 8 タイトル		●			随時期を含め 1 5 以上の期別が発生した場合は、通知を複数頁（説明文の印刷頁を含まず）とし、システムにて編集した文言を以下の例のように印字する （印字例：4 月開始で通常期が 1 2 期で、過年随時期が 3 期分、過々年随時期が 2 期分発生した場合） < 1 頁目 > 4 月（普徴 1 期）、5 月（普徴 2 期）、6 月（普徴 3 期）、7 月（普徴 4 期）、8 月（普徴 5 期）、9 月（普徴 6 期）、1 0 月（普徴 7 期）、1 1 月（普徴 8 期）、1 2 月（普徴 9 期）、1 月（普徴 1 0 期）、2 月（普徴 1 1 期）、3 月（普徴 1 2 期）、4 月（過年 1 期）、6 月（過年 3 期） < 2 頁目 > 1 0 月（過年 7 期）、1 0 月（過々年 7 期）、1 月（過々年 1 0 期）
160	普徴期 9 タイトル		●			
161	普徴期 1 0 タイトル		●			
162	普徴期 1 1 タイトル		●			
163	普徴期 1 2 タイトル		●			
164	普徴期 1 3 タイトル（過年分）		●			
165	普徴期 1 4 タイトル（過年分）		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例：納入通知（普徴）） 合計額 （印字例：納入通知（併徴）、変更通知） （B）合計額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する
166	普徴合計タイトル		●			
167	納期限	普徴期 1 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 1 あり） 普通徴収期 1 納期限 （普通徴収期 1 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 1 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
168		普徴期 2 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 2 あり） 普通徴収期 2 納期限 （普通徴収期 2 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 2 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する
169		普徴期 3 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 3 あり） 普通徴収期 3 納期限 （普通徴収期 3 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 3 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する
170		普徴期 4 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 4 あり） 普通徴収期 4 納期限 （普通徴収期 4 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 4 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する
171		普徴期 5 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 5 あり） 普通徴収期 5 納期限 （普通徴収期 5 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 5 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する
172		普徴期 6 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 6 あり） 普通徴収期 6 納期限 （普通徴収期 6 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 6 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する
173		普徴期 7 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 7 あり） 普通徴収期 7 納期限 （普通徴収期 7 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 7 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
174		普徴期 8 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 8 あり） 普通徴収期 8 納期限 （普通徴収期 8 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 8 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する
175		普徴期 9 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 9 あり） 普通徴収期 9 納期限 （普通徴収期 9 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 9 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する
176		普徴期 1 0 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 1 0 あり） 普通徴収期 1 0 納期限 （普通徴収期 1 0 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 1 0 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する
177		普徴期 1 1 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 1 1 あり） 普通徴収期 1 1 納期限 （普通徴収期 1 1 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 1 1 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する
178		普徴期 1 2 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 1 2 あり） 普通徴収期 1 2 納期限 （普通徴収期 1 2 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 1 2 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
179		普徴期 1 3 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 1 3 あり） 普通徴収期 1 3 納期限 （普通徴収期 1 3 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 1 3 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の納期限を印字する
180		普徴期 1 4 納期限	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （普通徴収期 1 4 あり） 普通徴収期 1 4 納期限 （普通徴収期 1 4 なし） 印字なし（SPACE） ※出力対象の納期限は普徴期 1 4 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の納期限を印字する
181	普通徴収期割額 1 上段	区分 9	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること （印字例：納入通知） “決定” （印字例：変更通知） “変更後”
182		普徴期 1 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 1 保険料額 （変更通知） 普徴期 1 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する
183		普徴期 2 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 2 保険料額 （変更通知） 普徴期 2 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 2 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
184		普徴期 3 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 3 保険料額 （変更通知） 普徴期 3 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 3 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する
185		普徴期 4 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 4 保険料額 （変更通知） 普徴期 4 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 4 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する
186		普徴期 5 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 5 保険料額 （変更通知） 普徴期 5 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 5 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する
187	普通徴収期割額 2 上段	区分 1 1	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること （印字例：納入通知） “決定” （印字例：変更通知） “変更後”
188		普徴期 6 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 6 保険料額 （変更通知） 普徴期 6 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 6 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
189		普徴期 7 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 7 保険料額 （変更通知） 普徴期 7 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 7 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する
190		普徴期 8 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 8 保険料額 （変更通知） 普徴期 8 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 8 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する
191		普徴期 9 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 9 保険料額 （変更通知） 普徴期 9 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 9 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する
192		普徴期 1 0 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 1 0 保険料額 （変更通知） 普徴期 1 0 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 0 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する
193	普通徴収期割額 3 上段	区分 1 3	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること （印字例：納入通知） “決定” （印字例：変更通知） “変更後”

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
194		普徴期 1 1 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 1 1 保険料額 （変更通知） 普徴期 1 1 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 1 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する
195		普徴期 1 2 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 1 2 保険料額 （変更通知） 普徴期 1 2 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 2 タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する
196		普徴期 1 3 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 1 3 保険料額 （変更通知） 普徴期 1 3 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 3 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の保険料額を印字する
197		普徴期 1 4 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴期 1 4 保険料額 （変更通知） 普徴期 1 4 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 4 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の保険料額を印字する
198		普徴合計額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） 普徴保険料合計額 （変更通知） 普徴保険料合計額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字し、それ以外の通知頁は“*”を印字する

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
199	普通徴収期割額 1 下段	区分 1 0	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された以下の内容を印字すること （印字例：納入通知） “*” （印字例：変更通知） “変更前”
200		普徴期 1 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴期 1 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する
201		普徴期 2 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴期 2 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 2 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する
202		普徴期 3 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴期 3 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 3 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する
203		普徴期 4 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴期 4 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 4 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
204		普徴期 5 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴期 5 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 5 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する
205	普通徴収期割額 2 下段	区分 1 2	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された以下の内容を印字すること （印字例：納入通知） “*” （印字例：変更通知） “変更前”
206		普徴期 6 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴期 6 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 6 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する
207		普徴期 7 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴期 7 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 7 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する
208		普徴期 8 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴期 8 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 8 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
209		普徴期 9 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴期 9 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 9 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する
210		普徴期 1 0 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴期 1 0 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 0 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する
211	普通徴収期割額 3 下段	区分 1 4	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された以下の内容を印字すること （印字例：納入通知） “*” （印字例：変更通知） “変更前”
212		普徴期 1 1 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴期 1 1 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 1 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する
213		普徴期 1 2 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴期 1 2 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 2 タイトルの印字対象と同じ期別の変更前保険料額を印字する

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
214		普徴期 1 3 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴通常期 1 3 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 3 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の 変更前保険料額を印字する
215		普徴期 1 4 保険料額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴通常期 1 4 保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期 1 4 タイトル（過年分）の印字対象と同じ期別の 変更前保険料額を印字する
216		普徴合計額	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （納入通知） “*” （変更通知） 変更前普徴保険料合計額 ※説明文の印刷頁を含まず複数頁の通知となる場合は、通知の最終頁にのみ印字 し、それ以外の通知頁は“*”を印字する
217	案内文 8		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） ◆納期限は各月末日です。（金融機関が休みのときは、翌営業日）。なお、口座振替は納期限が引落日になります。
218	案内文 9		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） ◆「過年」の記載がある場合は、お支払いいただく年度が過ぎて保険料が決定した分です。
219	ページ数		●			最終ページを含むページ数
220	総ページ数		●			最終ページを含む総ページ数
221	説明文	保険料の計算方法タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） 保険料の計算方法

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
222		保険料の計算方法本文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること なお、可変項目については広域標準システムにおける印字編集条件に準ずることとし、下記記載項目を参考に年度によって出力する文言を設定できること 記載項目 ・ 算定の根拠となる法令、条例及び賦課期日 ・ 保険料算出の方法 ・ 保険料率（額） ・ 月割の算定方法 ・ 軽減の算定方法 ・ 旧被扶養者に対する軽減について 等
223		審査請求タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） 審査請求及び取消の訴え

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
224		審査請求本文[不服申立先担当部署名][不服申立先担当自治体名]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [不服申立先担当部署名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（例：後期高齢者医療審査会名等を設定） [不服申立先担当自治体名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（提起先組織名。例：後期高齢者医療広域連合名等を設定） （不服申し立ての印字例） この通知について不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に[不服申立先担当部署名]に対し審査請求をすることができます。また、この処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決書を受け取った日の翌日から起算して6か月以内に[不服申立先担当自治体名]を被告として提起することができます。 なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後（次の1から3までのいずれかに該当するときは除く。）でなければ提起することができません。 1 審査請求があった日から3か月を経過しても裁決がないとき。 2 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。 3 その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。
225		問い合わせ先タイトル1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） お問い合わせ先
226		問い合わせ先案内文1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） 下記に記載の各お問い合わせ先へご連絡ください。
227		問い合わせ先タイトル2	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） 保険料額についてのお問い合わせ先

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
228		問い合わせ先案内文 2 [タイトル 1]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [タイトル 1]：システム印字項目 (印字例) [タイトル 1]に関するお問い合わせはこちらへご連絡ください。例： 決定された年間の保険料額について 等
229		担当部署名 1	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名
230		担当部署住所 1	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 〒＋郵便番号＋全角スペース＋住所
231		担当部署電話番号 1	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定
232		担当部署FAX番号 1	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
233		担当部署メール 1		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
234		問い合わせ先タイトル 3	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例：納入通知（特徴）) 特別徴収についてのお問い合わせ先 (印字例：納入通知（普徴）) 普通徴収についてのお問い合わせ先 (印字例：納入通知（併徴）、変更通知) 特別徴収・普通徴収についてのお問い合わせ先
235		問い合わせ先案内文 3 [タイトル 2]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [タイトル 2]：システム印字項目 (印字例) [タイトル 2]に関するお問い合わせはこちらへご連絡ください。例： 還付、納付のご相談 等
236		担当部署名 2	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	01 保険料額決定通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収開始通知書 保険料額決定（変更）通知書 兼 納入通知書 兼 特別徴収額変更通知書、 特別徴収中止通知書【様式②（A3）】
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
237		担当部署住所 2	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 〒＋郵便番号＋全角スペース＋住所
238		担当部署電話番号 2	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定
239		担当部署FAX番号 2	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
240		担当部署メール 2		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること
241		説明文自由領域	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （想定される印字内容） 普通徴収（納付書払い）の場合の納入場所、問い合わせ先

通知書番号
発行年月日

窓あき宛名

広域連合の名称

印

郵便還付先

タイトル1

案内文1 相当年度

被保険者氏名		被保険者番号	
決定年月日		決定理由	
暫定保険料額			円

算定基礎タイトル

前年度保険料額		暫定保険料額
	暫定期数 × 年間期数	

案内文2

タイトル2 相当年度

自治体の名称

印

案内文3 相当年度

決定理由	
徴収決定年月日	
自治体別保険料額タイトル	円
納付方法タイトル1	
納付方法	
備考 (固定文言1)	固定文言2 + 編集1

【期別保険料額】

期別・月		決定した保険料額	納期限
		普通徴収	
普1	4月		
普2	5月		
普3	6月		
合計額			

案内文4

問い合わせ先

担当部署名

〒担当部署住所

TEL 担当部署電話番号

担当部署FAX番号

担当部署メール

説明文 1

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	02 後期高齢者医療暫定保険料額決定通知書 兼 納入通知書
----	-----------	------	-------------------------------

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	通知書番号	●			
2	発行年月日	●			和暦表記
3	窓あき宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、 二次元コード
4	広域連合の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 広域連合＋広域連合長名 広域連合名の出力有無を変更できること 広域連合長名は機能・帳票要件（広域連合長・職務代理人出力）に従った内容を 出力すること
5	広域連合の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること 広域連合長の公印を出力する
6	郵便還付先		●		パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
7	タイトル1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字す る （印字例） 後期高齢者医療暫定保険料額決定通知書
8	案内文1 [相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定さ れた文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） （印字例） ※[相当年度]年度分の後期高齢者医療保険料額を次のとおり決定しましたので通 知します。
9	被保険者氏名	●			
10	被保険者番号	●			
11	決定年月日	●			和暦表記
12	決定理由	●			
13	暫定保険料額	●			
14	算定基礎タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定さ れた文言を印字すること （印字例） 保険料算定の基礎（算定方法は次紙をご覧ください）
15	前年度保険料額	●			
16	暫定期数	●			

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	02 後期高齢者医療暫定保険料額決定通知書 兼 納入通知書
----	-----------	------	-------------------------------

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
17	年間期数	●			
18	暫定保険料額	●			
19	案内文 2	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること なお、可変項目については広域標準システムにおける印字編集条件に準ずることとする （印字例） * 後期高齢者医療保険料は、高齢者の医療の確保に関する法律及び4 X X X 後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の規定によって、2 X 2X年2X月2X日現在の後期高齢者医療の被保険者に対して賦課されたものです。
20	タイトル 2 [相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） （印字例） [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 納入通知書
21	自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
22	自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること 登録されている自治体の長（もしくは職務代理人）の公印
23	案内文 3 [相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） （印字例） [相当年度]年度分の後期高齢者医療保険料額を次のとおり徴収することに決定しましたので通知します。
24	決定理由	●			
25	徴収決定年月日	●			和暦表記
26	自治体別保険料額タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） 自治体に納付する保険料額
27	自治体別保険料額	●			
28	納付方法タイトル 1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること （印字例） あなた様の納付方法は下記のとおりです。

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	02 後期高齢者医療暫定保険料額決定通知書 兼 納入通知書
----	-----------	------	-------------------------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
29	納付方法	納付方法	●			決定後期割内容によって文言マスタに設定された以下の内容を印字すること (印字例：口座なし) ”納付書払い” (印字例：口座あり(全期振替の場合)) ”口座振替(全期前納引落)” (印字例：口座あり(期別振替の場合)) ”口座振替(期別引落)”
30		備考(固定文言1)	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること (印字例) 普通徴収分口座情報
31		固定文言2＋編集1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言、項目を印字すること 口座番号は機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする (想定される印字項目) 金融機関名、支店名、口座名義人、口座種目、口座番号 等
32	期別保険料額	普徴期1タイトル	●			システム設定により、普徴開始期から以下の例のようなシステムにて編集した文言を普徴期1から印字すること (各市区町村の納期に応じてタイトルを設定(不要な箇所は空欄)できること) (印字例) 1期、2期、3期
33		普徴期2タイトル	●			
34		普徴期3タイトル	●			
35		普徴期1保険料額	●			普徴期1保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期1タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する
36		普徴期2保険料額	●			普徴期2保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期2タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する
37		普徴期3保険料額	●			普徴期3保険料額 ※出力対象の保険料額は普徴期3タイトルの印字対象と同じ期別の保険料額を印字する
38		普徴期1納期限	●			普通徴収期1納期限 ※出力対象の納期限は普徴期1タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	02 後期高齢者医療暫定保険料額決定通知書 兼 納入通知書
----	-----------	------	-------------------------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
39		普徴期 2 納期限	●			普通徴収期 2 納期限 ※出力対象の納期限は普徴期 2 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する
40		普徴期 3 納期限	●			普通徴収期 3 納期限 ※出力対象の納期限は普徴期 3 タイトルの印字対象と同じ期別の納期限を印字する
41		合計額	●			普徴保険料合計額
42	案内文 4		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) ◆本年度の確定後の保険料は、7月中旬にあらためて通知します。 ◆口座情報は、通知日時点にご登録のある口座を記載しています。また、口座名義人は先頭から20文字を記載しています。 ◆納期限は各月末日です。(金融機関が休みのときは、翌営業日)。なお、口座振替は納期限が引落日になります。 ◆下記問い合わせ先は保険料額についての問い合わせ先となります。保険料のお支払い方法、還付、納付相談については、裏面に記載の問い合わせ先にご連絡ください。 その他の各種お手続きについても次紙に記載の各問い合わせ先へご連絡ください。
43	問い合わせ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名
44		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所
45		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定
46		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
47		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	02 後期高齢者医療暫定保険料額決定通知書 兼 納入通知書
----	-----------	------	-------------------------------

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
48	説明文 1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [不服申立先担当部署名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（例：後期高齢者医療審査会名等を設定） [不服申立先担当自治体名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（提起先組織名。例：後期高齢者医療広域連合名等を設定） （想定される印字内容） 普通徴収（納付書払い）の場合の納入場所、問い合わせ先、不服申立および取消訴訟 等 （不服申し立ての印字例） 不服の申立 この通知について不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に[不服申立先担当部署名]に対し審査請求をすることができます。また、この処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決書を受け取った日の翌日から起算して6か月以内に[不服申立先担当自治体名]を被告として提起することができます。 なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後（次の1から3までのいずれかに該当するときに除く。）でなければ提起することができないこととされています。 1 審査請求があった日から3か月を経過しても裁決がないとき。 2 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。 3 その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。

通知書番号
発行年月日

窓あき宛名

広域連合の名称

印

郵便還付先

タイトル1

案内文1 相当年度

被保険者氏名		被保険者番号	
性別		生年月日	
住所			
決定年月日		決定理由	決定理由
区分1	仮徴収合計額1 円	区分2	仮徴収合計額2 円

案内文2

タイトル2 相当年度

自治体の名称

印

案内文3 相当年度

納付方法タイトル

納付方法	
特別徴収義務者	
特別徴収対象年金	
特別徴収年金給付額	

【期別保険料額】

年金支払月	特別徴収される保険料額	
	区分3	区分4
4月		
6月		
8月		
仮徴収額合計		

案内文4 保険料増減額

問い合わせ先

担当部署名

〒担当部署住所

TEL 担当部署電話番号

担当部署 FAX 番号

担当部署メール

教示文

不服申立先担当部署名

不服申立先担当自治体名

〒 不服申立先担当部署郵便番号

不服申立先担当部署住所

TEL 不服申立先担当部署電話番号

説明文

省令第5条第7号から第9号関係

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	03 保険料額決定通知書 兼 特別徴収仮徴収開始通知書 兼 納入通知書 保険料額変更通知書 兼 特別徴収仮徴収変更通知書 兼 納入通知書 保険料額変更通知書 兼 特別徴収仮徴収中止通知書 兼 納入通知書
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	通知書番号	●			
2	発行年月日	●			和暦表記
3	窓あき宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
4	広域連合の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 広域連合＋広域連合長名 広域連合名の出力有無を変更できること 広域連合長名は機能・帳票要件（広域連合長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
5	広域連合の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること 広域連合長の公印を出力する
6	郵便還付先		●		パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
7	タイトル1	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する （印字例：仮徴収開始通知） 後期高齢者医療保険料仮徴収額決定通知書 （印字例：仮徴収変更通知） 後期高齢者医療保険料仮徴収額変更決定通知書 （印字例：仮徴収中止通知） 後期高齢者医療保険料仮徴収額変更決定通知書
8	案内文1 [相当年度]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） （印字例） [相当年度]年度分の後期高齢者医療保険料仮徴収額を次のとおり決定しましたので通知します。
9	被保険者氏名	●			
10	被保険者番号	●			
11	性別	●			被保険者の性別
12	生年月日	●			被保険者の生年月日

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	03 保険料額決定通知書 兼 特別徴収仮徴収開始通知書 兼 納入通知書 保険料額変更通知書 兼 特別徴収仮徴収変更通知書 兼 納入通知書 保険料額変更通知書 兼 特別徴収仮徴収中止通知書 兼 納入通知書
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
13	住所		●			被保険者の住所 住所＋全角スペース＋方書
14	決定年月日		●			和暦表記
15	決定理由		●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：仮徴収開始通知) 仮徴収額を決定しました。 (印字例：仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) 仮徴収額を変更しました。
16	仮徴収合計額	区分 1	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：仮徴収開始通知) "仮徴収額合計" (印字例：仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) "変更後仮徴収額合計"
17		仮徴収合計額 1	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：仮徴収開始通知) 仮徴収額合計 (印字例：仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) 変更後仮徴収額合計
18		区分 2	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：仮徴収開始通知) "*" (印字例：仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) "変更前仮徴収額合計"
19		仮徴収合計額 2	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：仮徴収開始通知) "*" (印字例：仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) 変更前仮徴収額合計

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	03 保険料額決定通知書 兼 特別徴収仮徴収開始通知書 兼 納入通知書 保険料額変更通知書 兼 特別徴収仮徴収変更通知書 兼 納入通知書 保険料額変更通知書 兼 特別徴収仮徴収中止通知書 兼 納入通知書
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
20	案内文 2		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、決定内容によって以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例：仮徴収開始通知) 決定した仮徴収額は前年度の保険料から算定した、仮徴収期（4月から8月）に年金からお納めいただく保険料額です。 (印字例：仮徴収変更通知) 決定した仮徴収額は、仮徴収期（4月から8月）に年金からお納めいただく保険料額です。
21	タイトル 2 [相当年度]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） (印字例) [相当年度]年度 後期高齢者医療保険料 納入通知書
22	自治体の名称		●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
23	自治体の印		●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること 登録されている自治体の長（もしくは職務代理人）の公印
24	案内文 3 [相当年度]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [相当年度]：システム印字項目（和暦表記） (印字例) [相当年度]年度分の後期高齢者医療保険料額を次のとおり徴収することに決定しましたので通知します。
25	納付方法タイトル		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること (印字例) あなた様の納付方法は下記のとおりです。
26	納付方法	納付方法	●			特別徴収
27		特別徴収義務者	●			
28		特別徴収対象年金	●			
29		特別徴収年金給付額	●			

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	03 保険料額決定通知書 兼 特別徴収仮徴収開始通知書 兼 納入通知書 保険料額変更通知書 兼 特別徴収仮徴収変更通知書 兼 納入通知書 保険料額変更通知書 兼 特別徴収仮徴収中止通知書 兼 納入通知書
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
30	期別保険料額 区分3列	区分3	●			決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：仮徴収開始通知) "決定" (印字例：仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) "変更後"
31		特別徴収される保険料額（4月分）	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：仮徴収開始通知) 特徴1期保険料額 (印字例：仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) 特徴1期保険料額
32		特別徴収される保険料額（6月分）	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：仮徴収開始通知) 特徴2期保険料額 (印字例：仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) 特徴2期保険料額
33		特別徴収される保険料額（8月分）	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：仮徴収開始通知) 特徴3期保険料額 (印字例：仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) 特徴3期保険料額
34		仮徴収額合計	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：仮徴収開始通知) 仮徴収額合計 (印字例：仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) 仮徴収額合計
35	期別保険料額 区分4列	区分4				決定内容によって文言マスタに以下の例のように設定された内容を印字すること (印字例：仮徴収開始通知) "*" (印字例：仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) "変更前"
36		特別徴収される保険料額（4月分）	●			決定内容によって以下の内容を印字すること (印字例：仮徴収開始通知) "*" (印字例：仮徴収変更通知、仮徴収中止通知) 変更前特徴1期保険料額

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	03	保険料額決定通知書 兼 特別徴収仮徴収開始通知書 兼 納入通知書 保険料額変更通知書 兼 特別徴収仮徴収変更通知書 兼 納入通知書 保険料額変更通知書 兼 特別徴収仮徴収中止通知書 兼 納入通知書
----	-----------	------	----	--

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
37		特別徴収される保険料額（6月分）	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：仮徴収開始通知） “*” （印字例：仮徴収変更通知、仮徴収中止通知） 変更前特徴2期保険料額
38		特別徴収される保険料額（8月分）	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：仮徴収開始通知） “*” （印字例：仮徴収変更通知、仮徴収中止通知） 変更前特徴3期保険料額
39		仮徴収額合計	●			決定内容によって以下の内容を印字すること （印字例：仮徴収開始通知） “*” （印字例：仮徴収変更通知、仮徴収中止通知） 変更前仮徴収額合計
40	案内文4 [保険料増減額]		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、以下の例のように設定された文言を印字すること [保険料増減額]：システム印字項目 （印字例） 本年度の確定後の保険料は、7月中旬にあらためて通知します。 前回通知からの保険料額の差額は[保険料増減額]円です。
41	問い合わせ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名
42		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所
43		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定
44		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること
45		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	03 保険料額決定通知書 兼 特別徴収仮徴収開始通知書 兼 納入通知書 保険料額変更通知書 兼 特別徴収仮徴収変更通知書 兼 納入通知書 保険料額変更通知書 兼 特別徴収仮徴収中止通知書 兼 納入通知書
----	-----------	------	---

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
46	不服の申立	教示文[不服申立先担当部署名][不服申立先担当自治体名]	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること [不服申立先担当部署名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（例：後期高齢者医療審査会名等を設定） [不服申立先担当自治体名]：システム印字項目（マスタ管理している不服申立先情報を設定（提起先組織名。例：後期高齢者医療広域連合名等を設定） （印字例） 不服の申立 この通知について不服があるときは、この通知書を受け取った日の翌日から起算して3か月以内に[不服申立先担当部署名]に対し審査請求をすることができます。また、この処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決書を受け取った日の翌日から起算して6か月以内に[不服申立先担当自治体名]を被告として提起することができます。 なお、処分の取消しの訴えは、前記の審査請求に対する裁決を経た後（次の1から3までのいずれかに該当するときは除く。）でなければ提起することができないこととされています。 - 審査請求があった日から3か月を経過しても裁決がないとき。 - 処分、処分の執行又は手続の続行により生ずる著しい損害を避けるため緊急の必要があるとき。 - その他裁決を経ないことにつき正当な理由があるとき。
47		不服申立先担当部署郵便番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定
48		不服申立先担当部署住所	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定
49		不服申立先担当部署電話番号	●			マスタ管理している不服申立先情報を設定
50	説明文		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字すること （想定される印字内容） 問い合わせ先 等

文書番号
発行年月日

窓あき宛名

郵便還付先

自治体の名称
印

タイトル

案内文

被保険者氏名		被保険者番号	
--------	--	--------	--

口座振替開始年月		口座振替開始年月		振替開始期別	
		補足説明文1			
振替口座	金融機関	金融機関名			
		金融機関支店名			
	口座種目		口座番号		
	口座名義人				

補足説明文2

問い合わせ先
担当部署名
〒 担当部署住所
TEL 担当部署電話番号 担当部署FAX番号 担当部署メール

<後期高齢者医療保険料口座振替開始（変更）のお知らせ（はがき）>

宛名

問い合わせ先

担当部署名

〒担当部署住所

TEL 担当部署電話番号

担当部署FAX番号

担当部署メール

文書番号

タイトル

発行年月日

自治体の名称

印

案内文

被保険者氏名

被保険者番号

口座振替開始年月

口座振替開始年月

振替開始期別

補足説明文1

振替口座

金融機関

金融機関名

金融機関支店名

口座種目

口座番号

口座名義人

補足説明文2

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		03. 保険料賦課		帳票名称	04 後期高齢者医療保険料口座振替開始（変更）のお知らせ
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
1	文書番号	●			機能・帳票要件における文書番号に関する機能の要件に準じた出力条件・内容とする
2	発行年月日	●			和暦表記
3	宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード
4	郵便還付先		●		※A4様式の場合のみ印字される パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
5	自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
6	自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
7	タイトル	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 口座振替開始（変更）のお知らせ
8	案内文	●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する (印字例) 口座振替にご加入いただきありがとうございます。口座振替開始（変更）の手続が完了しましたので、下記のとおり、あなたの後期高齢者医療保険料について口座振替を行います。内容につきまして、ご確認ください。 万が一、指定口座の情報に相違あるいはご不審な点がございましたら、●●課へご連絡ください。
9	被保険者氏名	●			
10	被保険者番号	●			
11	口座振替開始年月	●			和暦表記 印字する場合は以下の形式で印字すること (印字例) 令和●●年●●月分から
12	振替開始期別	●			年度＋期別 (印字例) (令和●●年●●期)

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		03. 保険料賦課		帳票名称		04 後期高齢者医療保険料口座振替開始（変更）のお知らせ	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
13	補足説明文 1		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する なお、口座情報に対象者の振替区分が「全期前納」として登録されている場合は、印字例（全期前納）を出力する （印字例） 以降、納期限が到来する期別について口座振替を開始いたします ※納期限については、お手元の納入通知書をご参照ください （印字例（全期前納）） ※全期前納の場合、上記に記載した期の納期限の日に1年分の保険料額をご指定の口座から振替します。 なお、年度の途中（第2期以降）から振替方法「全期前納」を申し込んでいる場合は、その開始の年度は各期で振替をおこない、翌年度から全期前納での振替となりますので、ご注意ください。	
14	振替口座	金融機関名	●				
15		金融機関支店名	●				
16		口座種目	●				
17		口座番号	●			機能・帳票要件における口座番号マスク機能の要件に準じた出力内容とする	
18		口座名義人	●			半角カナで印字すること	
19	補足説明文 2		●			文言マスタで、印字有無が「有」となっている場合は、設定された文言を印字する （印字例） ・後期高齢者医療保険料の口座振替日は毎月末日です。ただし、振替日が金融機関等の休業日（土・日・祝日・年末年始）に当たる場合は、翌営業日になります。	
20	問合せ先	担当部署名	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 市区町村名＋部署名	
21		担当部署住所	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 郵便番号＋全角スペース＋住所	
22		担当部署電話番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定	
23		担当部署FAX番号	●			マスタ管理している問合せ先情報を設定 パラメタにより出力有無を変更できること 印字する場合は先頭に「FAX番号」を付与し印字すること	
24		担当部署メール		●		マスタ管理している問合せ先情報を設定 印字する場合は先頭に「メール」を付与し印字すること	

<納付書1（カク公）>

77

〇〇県〇〇市

賦課年度

年度

後期高齢者医療保険料

納入済通知書

公

通常払込料金
加入者負担

加入者名

〇〇市
会計管理者

口座
記号
番号

01234-5-678901

納付合計
金額

円

収納機関
番号

納付
番号

確認
番号

納付
区分

相当年度

期別

通知書
番号

納期限

年

月

日

34

収納用
コンビニ

収納代行会社：株式会社〇〇
(ご注意) 金額を訂正した場合、この納付書では納付できません。

被保険者
氏名

取扱
期限

年

月

日

取りまとめ金融機関・〇〇銀行・〇〇支店
(〇〇市/コンビニ本部保管)

〇〇県〇〇市

賦課年度

年度

後期高齢者医療保険料

原符兼払込金受領証

公

加入者名

〇〇市 会計管理者

口座記号番号

01234-5-678901

納付合計
金額

円

取扱期限

年

月

日

被保険者氏名

納付番号

確認番号

納付
区分

年 度

賦課年度

相当年度

科 目

後期高齢者医療保険料

通知書番号

期別

〇〇県
〇〇市

領収日付印

収納代行会社：株式会社〇〇
(金融機関/コンビニ店舗保管)

賦課年度

年度

後期高齢者医療保険料

窓あき宛名

発行年月日

自治体の名称

郵便還付先

〇〇市
〒000-0000 〇〇市1丁目2番3号
電話番号000-000-0000

〇コンビニエンスストアで納付する方へ
ご利用は、期別ごとの納付額30万円まで可能です。納付額の訂正はできません。
〇この用紙は、直接機械により処理しますので、汚したり折り曲げたりしないでください。
〇この領収証書は大切に保管してください。
〇裏面もご覧ください。

スマートフォン
等での納付はこちら

二次元
コード

印

領収証書

被保険者氏名		備考5	編集5
被保険者番号			
年 度	賦課年度	相当年度	
科 目	後期高齢者医療保険料		
通知書番号			
期 別			
納付番号			
確認番号		納付区分	
納付金額			
延 滞 金			
備 考 1		編集1	
備 考 2		編集2	
備 考 3		編集3	
備 考 4		編集4	

※取扱期限とは、コンビニエンスストアでの
使用可能期限です。

本書の金額を
領収いたしました。

領収日付印

ゆうちょ銀行・郵便局で納付
された場合は、この領収証書
に代えて払込金受領証が交付
されます。

収納代行会社：株式会社〇〇
(納付者保管)

- ・ 帳票詳細要件に項目の定義が無いものは、自治体に応じた内容でプレ印字されることを前提とする。
- ・ ペイジーマークはペイジー導入済み地方団体ののみが使用でき、帳票レイアウトはMPN標準帳票ガイドライン等の仕様書に沿って作成される必要がある。（仕様書上のマークは参考として記載）
- ・ カク公マークをつけているが、本仕様書上では配置位置の参考としてお示ししている。ゆうちょ銀行の取り扱いが必要な場合、余白など含め規格に応じた調整を行ったうえで使用すること。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		03. 保険料賦課		帳票名称		05 納付書1 (カク公)	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
1	納入済通知書	賦課年度	●			和暦表記	
2		納付合計金額	●				
3		収納機関番号		●		出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用)	
4		納付番号		●		納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用)	
5		確認番号		●		出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用。採番について規定されたルールはなく、納付書管理番号とペアで使用することで誤入力などにより誤った納付が行われることを防止している)	
6		納付区分		●		納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用)	
7		相当年度	●			和暦表記	
8		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”	
9		通知書番号	●			納入通知書の通知書番号	
10		納期限	●			和暦表記	
11		OCR	●				
12		バーコード	●			出力有無を選択可能とすること (コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため) コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示	
13		二次元コード		●		JPQR統一規格の仕様に準拠した二次元コードを出力すること (金融機関での支払いではなく、コンビニやスマートフォンアプリでの支払いに使用する二次元コードを印刷する想定) 出力有無を選択可能とすること ※本仕様書は日本マルチペイメントネットワーク推進協議会 (JAMPA) より公開されている資料 (準備編 「サービス開始までの準備概要とFAQ」) で指定されている二次元コードの印刷位置に基づいて作成	
14	原符兼払込金受領証	被保険者氏名	●				
15		取扱期限	●			和暦表記	
16		賦課年度	●			和暦表記	
17		納付合計金額	●				
18		取扱期限	●			和暦表記	

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		03. 保険料賦課		帳票名称	05 納付書1 (カク公)
通番	システム印字項目	実装項目			印字編集条件など
		必須	オプション	不可	
19		被保険者氏名	●		
20		納付番号	●		納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること
21		確認番号	●		出力有無を選択可能とすること
22		納付区分	●		納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること
23		賦課年度	●		和暦表記
24		相当年度	●		和暦表記
25		通知書番号	●		納入通知書の通知書番号
26		期別	●		①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”
27	領収証書	賦課年度	●		和暦表記
28		宛名	●		共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、 二次元コード
29		発行年月日	●		和暦表記
30		自治体の名称	●		パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること
31		自治体の印	●		機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること
32		郵便還付先		●	パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること
33		被保険者氏名	●		
34		被保険者番号	●		
35		備考 5	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番 等
36		編集 5	●		文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等
37		賦課年度	●		和暦表記
38		相当年度	●		和暦表記
39		通知書番号	●		納入通知書の通知書番号

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		03. 保険料賦課		帳票名称		05 納付書1 (カク公)	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
40		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” + “ (●月分) ” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “ (●月分) ” + “～” + 終了期別 + “期” + “ (●月分) ”	
41		納付番号		●		納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること	
42		確認番号		●		出力有無を選択可能とすること	
43		納付区分		●		納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること	
44		納付金額	●			納付金額 (末尾に “円” を付与すること) 期別保険料額-期別収納額	
45		延滞金	●			延滞金 (末尾に “円” を付与すること)	
46		備考 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等	
47		編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料 (末尾に “円” を付与すること) 等	
48		備考 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等	
49		編集 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額 (末尾に “円” を付与すること) 等	
50		備考 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納期限 等	
51		編集 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納期限 等	
52		備考 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等	
53		編集 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等	

< 連振納付書1 (カク公) >

77

〇〇県〇〇市

賦課年度

年度

後期高齢者医療保険料

納入済通知書

公

通常払込料金
加入者負担

加入者名	〇〇市 会計管理者	口座 記号 番号	01234-5-678901	納付合計 金額			円
収納機関 番号		納付 番号		確認 番号		納付 区分	
相当年度		期別		通知書 番号		納期限	年 月 日

34

▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼ ▼

収納用
コンビニ

収納代行会社：株式会社〇〇
(ご注意) 金額を訂正した場合、この納付書では納付できません。

被保険者 氏 名		取扱 期限	年 月 日
-------------	--	----------	-------

取りまとめ金融機関・〇〇銀行〇〇支店
(〇〇市/コンビニ本部保管)

〇〇県〇〇市

賦課年度 年度 後期高齢者医療保険料

原符兼払込金受領証

公

加入者名	〇〇市 会計管理者
口座記号番号	01234-5-678901
納付合計 金 額	円
取扱期限	年 月 日
☒ 被保険者氏名	
納付番号	
確認番号	
年 度	賦課年度 相当年度
科 目	後期高齢者医療保険料
通知書番号	

〇〇県
〇〇市

収納代行会社：株式会社〇〇
(金融機関/コンビニ店舗保管)

領収証書

対象者番号

住所 郵便番号		備考1	備考2
年度	賦課年度	相当年度	
科目	後期高齢者医療保険料		
通知書番号			
期別			
納付番号			
確認番号		納付区分	
納付金額			
延滞金			
備考1	編集1		
備考2	編集2		
備考3	編集3		
備考4	編集4		

※取扱期限とは、コンビニエンスストアでの使用可能期限です。

領収日付印

ゆうちょ銀行・郵便局で納付
された場合は、この領収証書
に代えて払込金受領証が交付
されます。

収入印紙不要

収納代行会社：株式会社〇〇
(納付者保管)

- ・ 帳票詳細要件に項目の定義が無いものは、自治体に応じた内容でプレ印字されることを前提とする。
- ・ ペイジーマークはペイジー導入済み地方団体のみが使用でき、帳票レイアウトはMPN標準帳票ガイドライン等の仕様書に沿って作成される必要がある。(仕様書上のマークは参考として記載)
- ・ カク公マークをつけているが、本仕様書上では配置位置の参考としてお示ししている。
ゆうちょ銀行の取り扱いが必要な場合、余白など含め規格に応じた調整を行ったうえで使用すること。
- ・ 二次元コードについて金融機関等から窓口にて地方税統一QRコードと誤認してしまうため領収証書以外の個所に印字しないよう依頼されている。そのため、この様式では裏面に印字していただくことを想定している。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課		帳票名称		06 連帳納付書1 (カク公)	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
1	納入済通知書	賦課年度	●			和暦表記
2		納付合計金額	●			
3		収納機関番号		●		出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用)
4		納付番号		●		納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用)
5		確認番号		●		出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用。採番について規定されたルールはなく、納付書管理番号とペアで使用することで誤入力などにより誤った納付が行われることを防止している)
6		納付区分		●		納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること (マルチペイメントを使用する際に使用)
7		相当年度	●			和暦表記
8		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”
9		通知書番号	●			納入通知書の通知書番号
10		納期限	●			和暦表記
11		OCR	●			
12		バーコード	●			出力有無を選択可能とすること (コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため) コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
13		二次元コード		●		JPQR統一規格の仕様に準拠した二次元コードを出力すること (金融機関での支払いではなく、コンビニやスマートフォンアプリでの支払いに使用する二次元コードを印刷する想定) 出力有無を選択可能とすること ※本仕様書は日本マルチペイメントネットワーク推進協議会 (JAMPA) より公開されている資料 (準備編 「サービス開始までの準備概要とFAQ」) で指定されている二次元コードの印刷位置に基づいて作成 二次元コードについては帳票表面は宛名、領収証書面以外に二次元コードは印字しないよう金融機関等から要請があったため、本帳票では裏面に印字することを想定
14	原符兼払込金受領証	被保険者氏名	●			
15		取扱期限	●			和暦表記
16		賦課年度	●			和暦表記
17		納付合計金額	●			

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		03. 保険料賦課		帳票名称		06 連帳納付書1 (カク公)	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
18		取扱期限	●			和暦表記	
19		被保険者氏名	●				
20		納付番号		●		納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること	
21		確認番号		●		出力有無を選択可能とすること	
22		納付区分		●		納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること	
23		賦課年度	●			和暦表記	
24		相当年度	●			和暦表記	
25		通知書番号	●			納入通知書の通知書番号	
26		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”	
27	領収証書	対象者番号		●		対象者やその他の送付物との結び付け用、送付前引き抜き用の番号 利用する番号は、1からの連番、宛名番号や被保険者番号等、結び付けや特定が可能な番号とする パラメタにより出力有無を変更できること	
28		被保険者氏名	●				
29		被保険者番号	●				
30		備考 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番 等	
31		編集 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等	
32		賦課年度	●			和暦表記	
33		相当年度	●			和暦表記	
34		通知書番号	●			納入通知書の通知書番号	
35		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” + “ (●月分) ” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “ (●月分) ” + “～” + 終了期別 + “期” + “ (●月分) ”	
36		納付番号		●		納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること	
37		確認番号		●		出力有無を選択可能とすること	
38		納付区分		●		納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること	
39		納付金額	●			納付金額 (末尾に “円” を付与すること) 期別保険料額-期別収納額	
40		延滞金	●			延滞金 (末尾に “円” を付与すること)	
41		備考 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等	

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		03. 保険料賦課			帳票名称	06 連帳納付書1（カク公）
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
42		編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
43		備考 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納付合計額 等
44		編集 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等
45		備考 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納期限 等
46		編集 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納期限 等
47		備考 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等
48		編集 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 取扱期限 等

<納付書2 (マル公) >
〇〇県〇〇市

賦課年度 年度 後期高齢者医療保険料 納入済通知書 公

加入者名 〇〇市 口座記号表示 01234-5-678901 金 額 円

賦課年度 相当年度 通知書番号 期別

被保険者番号 納期限 年 月 日 取扱期限 年 月 日

33

督促手数料 円 延滞金 円 合計 円

被保険者氏名

収納用ビニ

収納代行会社：株式会社〇〇
(ご注意) 金額を訂正した場合、この納付書では納付できません。
取り立ての金額確認・〇〇銀行〇〇支店
取り立ての店 平井田支店 市庁舎と銀行の共同事務センター (〇〇市「コンビニお取保管」)

〇〇県〇〇市 01234-5-678901 〇〇市会計管理者

賦課年度 年度 後期高齢者医療保険料 公

原簿

被保険者氏名

賦課年度 相当年度

通知書番号

期 別 被保険者番号

納期限 年 月 日

金 額

延滞金

備考1 編集1

備考2 編集2

備考3 編集3

〇〇県 〇〇市

領収日付印

収納代行会社：株式会社〇〇
(金融機関/コンビニお取保管)

賦課年度 年度 後期高齢者医療保険料

窓あき宛名

発行年月日

自治体の名称

郵便還付先

〇〇市
〒000-0000 〇〇市1丁目2番3号
電話番号000-000-0000

〇コンビニエンスストアで納付する方へ
ご利用は、期別ごとの納付額30万円まで可能です。納付額の訂正はできません。
〇この用紙は、直接機械により処理しますので、汚したり折り曲げたりしないでください。
〇この領収証書は大切に保管してください。
〇裏面もご覧ください。

印

スマートフォン等での納付はこちら
二次元コード

領収証書 公

被保険者氏名

賦課年度

相当年度

科 目 後期高齢者医療保険料

通知書番号

被保険者番号 備考4 編集4

期 別

納期限 年 月 日

金 額

延滞金

備考5 編集5

備考6 編集6

備考7 編集7

本書の金額を
領収いたしました。

領収日付印

収納代行会社：株式会社〇〇 収入印紙不要
(納付書保管)

- ・ 帳票詳細要件に項目の定義が無いものは、自治体に応じた内容でプレ印字されることを前提とする。
- ・ マル公マークをつけているが、本仕様書上では配置位置の参考としてお示ししている。
ゆうちょ銀行の取り扱いが必要な場合、余白など含め規格に応じた調整を行ったうえで使用すること。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		03. 保険料賦課		帳票名称		07 納付書2 (マル公)	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
1	納入済通知書	賦課年度	●			和暦表記	
2		金額	●			納付金額 期別保険料額-期別収納額	
3		賦課年度	●			和暦表記	
4		相当年度	●			和暦表記	
5		通知書番号	●			納入通知書の通知書番号	
6		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”	
7		被保険者番号	●				
8		納期限	●			和暦表記	
9		取扱期限	●			和暦表記	
10		OCR	●				
11		被保険者氏名	●				
12		バーコード	●			出力有無を選択可能とすること (コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため) コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示	
13	二次元コード		●		JPQR統一規格の仕様に準拠した二次元コードを出力すること (金融機関での支払いではなく、コンビニやスマートフォンアプリでの支払いに 使用する二次元コードを印刷する想定) 出力有無を選択可能とすること ※本仕様書は日本マルチペイメントネットワーク推進協議会 (JAMPA) より公開 されている資料 (準備編 「サービス開始までの準備概要とFAQ」) で指定されてい る二次元コードの印刷位置に基づいて作成		
14	原符兼払込金受領証	賦課年度	●			和暦表記	
15		被保険者氏名	●				
16		賦課年度	●			和暦表記	
17		相当年度	●			和暦表記	
18		通知書番号	●			納入通知書の通知書番号	
19		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”	
20		被保険者番号	●				
21		納期限	●			和暦表記	
22		金額	●			納付金額 (末尾に “円” を付与すること) 期別保険料額-期別収納額	
23		延滞金	●			延滞金 (末尾に “円” を付与すること)	

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		03. 保険料賦課		帳票名称		07 納付書2 (マル公)	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
24		備考 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等	
25		編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料 (末尾に “円” を付与すること) 等	
26		備考 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等	
27		編集 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額 (末尾に “円” を付与すること) 等	
28		備考 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等	
29		編集 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等	
30	領収証書	賦課年度	●			和暦表記	
31		宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、 二次元コード	
32		発行年月日	●			和暦表記	
33		自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること	
34		自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること	

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		03. 保険料賦課		帳票名称		07 納付書2 (マル公)	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
35		郵便還付先		●		パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること	
36		被保険者氏名	●				
37		賦課年度	●			和暦表記	
38		相当年度	●			和暦表記	
39		通知書番号	●			納入通知書の通知書番号	
40		被保険者番号	●				
41		備考 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番 等	
42		編集 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等	
43		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別＋”期”＋”(●月分)” ③複数期の場合、開始期別＋”期”＋”(●月分)”＋”～”＋終了期別＋”期”＋”(●月分)”	
44		納期限	●			和暦表記	
45		金額	●			納付金額 (末尾に ”円”を付与すること) 期別保険料額-期別収納額	
46		延滞金	●			延滞金 (末尾に ”円”を付与すること)	
47		備考 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等	
48		編集 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料 (末尾に ”円”を付与すること) 等	
49		備考 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等	

業務		03. 保険料賦課		帳票名称		07 納付書2（マル公）	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
50		編集 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等	
51		備考 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等	
52		編集 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 取扱期限 等	

<連帳納付書2（マル公）>
〇〇県〇〇市

賦課年度 年度 後期高齢者医療保険料 納入済通知書 公

加入者名 〇〇市 会計管理者 口座記号番号 01234-5-678901 金 額 円

賦課年度 相当年度 通知書番号 期別

被保険者番号 納期限 年 月 日 取扱期限 年 月 日

33

督促手数料 円 延滞金 円 合計 円

被保険者氏名

収納用ビニ

収納代行会社：株式会社〇〇
（ご注意）金額を訂正した場合、この納付書では納付できません。

取りよめの金融機関・〇〇銀行〇〇支店
取りよめの商 事所〇〇〇〇（印字） 〇〇市 〇〇区 〇〇町 〇〇番 〇〇号

（〇〇市/コンビニ未納保管）

〇〇県〇〇市 01234-5-678901 〇〇市会計管理者
賦課年度 年度 後期高齢者医療保険料 公

原簿
被保険者氏名
賦課年度 相当年度
通知書番号
期 別 被保険者番号
納期限 年 月 日
金 額
延滞金
備考1 編集1
備考2 編集2
備考3 編集3

〇〇県
〇〇市
収納代行会社：株式会社〇〇
（金融機関/コンビニ未納保管）

領収日付印

01234-5-678901 〇〇市会計管理者
領収証書 公

被保険者氏名
賦課年度
相当年度
科 目 後期高齢者医療保険料
通知書番号
期別 備考1 備考4
納期限 年 月 日
金 額
延滞金
備考5 編集5
備考6 編集6
備考7 編集7

領収日付印
収入印紙不要
収納代行会社：株式会社〇〇
（納付者保管）

- ・帳票詳細要件に項目の定義が無いものは、自治体に応じた内容でプレ印字されることを前提とする。
- ・マル公マークをつけているが、本仕様書上では配置位置の参考としてお示ししている。
ゆうちょ銀行の取り扱いが必要な場合、余白など含め規格に応じた調整を行ったうえで使用すること。
- ・二次元コードについて金融機関等から窓口にて地方税統一QRコードと誤認してしまうため領収証書以外の個所に印字しないよう依頼されている。そのため、この様式では裏面に印字していただくことを想定している。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	08 連帳納付書2（マル公）
----	-----------	------	----------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
1	納入済通知書	賦課年度	●			和暦表記
2		金額	●			納付金額 期別保険料額-期別収納額
3		賦課年度	●			和暦表記
4		相当年度	●			和暦表記
5		通知書番号	●			納入通知書の通知書番号
6		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”
7		被保険者番号	●			
8		納期限	●			和暦表記
9		取扱期限	●			和暦表記
10		OCR	●			
11		被保険者氏名	●			
12		バーコード	●			出力有無を選択可能とすること （コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため） コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
13		二次元コード		●		JPQR統一規格の仕様に準拠した二次元コードを出力すること （金融機関での支払いではなく、コンビニやスマートフォンアプリでの支払いに 使用する二次元コードを印刷する想定） 出力有無を選択可能とすること ※本仕様書は日本マルチペイメントネットワーク推進協議会（JAMPA）より公開 されている資料（準備編 「サービス開始までの準備概要とFAQ」）で指定されてい る二次元コードの印刷位置に基づいて作成 二次元コードについては帳票表面は宛名、領収証書面以外に二次元コードは印字 しないよう金融機関等から要請があったため、本帳票では裏面に印字することを 想定
14	原符兼払込金受領証	賦課年度	●			和暦表記
15		被保険者氏名	●			
16		賦課年度	●			和暦表記
17		相当年度	●			和暦表記
18		通知書番号	●			納入通知書の通知書番号
19		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”
20		被保険者番号	●			
21		納期限	●			和暦表記

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	08 連帳納付書2 (マル公)
----	-----------	------	-----------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
22		金額	●			納付金額（末尾に“円”を付与すること） 期別保険料額-期別収納額
23		延滞金	●			延滞金（末尾に“円”を付与すること）
24		備考1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料 等
25		編集1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
26		備考2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納付合計額 等
27		編集2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等
28		備考3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等
29		編集3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 取扱期限 等
30	領収証書	対象者番号		●		対象者やその他の送付物との結び付け用、送付前引き抜き用の番号 利用する番号は、1からの連番、宛名番号や被保険者番号等、結び付けや特定が可能な番号とする パラメタにより出力有無を変更できること
31		被保険者氏名	●			
32		賦課年度	●			和暦表記
33		相当年度	●			和暦表記
34		通知書番号	●			納入通知書の通知書番号
35		被保険者番号	●			
36		備考4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 賦番 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		03. 保険料賦課		帳票名称		08 連帳納付書2 (マル公)	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
37		編集 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等	
38		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” + “ (●月分) ” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “ (●月分) ” + “～” + 終了期別 + “期” + “ (●月分) ”	
39		納期限	●			和暦表記	
40		金額	●			納付金額 (末尾に “円” を付与すること) 期別保険料額-期別収納額	
41		延滞金	●			延滞金 (末尾に “円” を付与すること)	
42		備考 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等	
43		編集 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料 (末尾に “円” を付与すること) 等	
44		備考 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等	
45		編集 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額 (末尾に “円” を付与すること) 等	
46		備考 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等	
47	編集 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等		

<納付書1 (カク公) (eL-QRあり) >

77

〇〇県〇〇市

賦課年度

年度

後期高齢者医療保険料

納入済通知書

公

通常払込料金加入者負担

ipay

加入者名	〇〇市 会計管理者	口座 記号 番号	01234-5-678901	納付合計 金額		円
収納機関 番号		納付 番号		確認 番号		納付 区分
相当年度		期別		通知書 番 号		納期限
						年 月 日

34

▼▼▼▼▼▼▼▼

収納用

コンビニ

収納代行会社：株式会社〇〇

(ご注意) 金額を訂正した場合、この納付書では納付できません。

被保険者氏 名

取扱
期限

年 月 日

領収日付印

取りまとめ金融機関・〇〇銀行〇〇支店
(〇〇市/コンビニ本部保管)

記入者

〇〇県〇〇市

賦課年度

年度

後期高齢者医療保険料

原符票払込金受領証

公

ipay

加入者名	〇〇市 会計管理者	口座記号番号	01234-5-678901
納付合計金額		円	
取扱期限		年 月 日	
☒ 被保険者氏名			
納付番号		納付区分	
確認番号		納付区分	
年 度	賦課年度	相当年度	
科 目	後期高齢者医療保険料		
通知書番号		期別	
納期限		年 月 日	
〇〇県 〇〇市		領収日付印	
収納代行会社：株式会社〇〇			
(金融機関/コンビニ店頭保管)			

賦課年度

年度

後期高齢者医療保険料

窓あき宛名

発行年月日

自治体の名称

印

郵便還付先

〇〇市

〒000-0000

〇〇市1丁目2番3号

電話番号000-000-0000

〇コンビニエンスストアで納付する方へ
ご利用は、期別ごとの納付額30万円まで可能です。納付額の訂正はできません。
〇この用紙は、直接機械により処理しますので、汚したり折り曲げたりしないでください。
〇この領収証書は大切に保管してください。
〇裏面もご覧ください。

領収証書

被保険者氏名			
被保険者番号		備考5	編集5
年 度	賦課年度	相当年度	
科 目	後期高齢者医療保険料		
通知書番号			
期 別			
納付番号			
確認番号		納付区分	
納付金額			
延 滞 金			
備 考 1	編集1		
備 考 2	編集2		
備 考 3	編集3		
備 考 4	編集4		

※取扱期限とは、コンビニエンスストアでの使用可能期限です。

本書の金額を 領収いたしました。 ゆうちょ銀行・郵便局で納付 された場合は、この領収証書 に代えて払込金受領証が交付 されます。	領収日付印
収納代行会社：株式会社〇〇	収入用紙不製
(納付者保管)	

- ・ 帳票詳細要件に項目の定義が無いものは、自治体に応じた内容でプレ印字されることを前提とする。
- ・ ペイジーマークはペイジー導入済み地方団体ののみが使用でき、帳票レイアウトはMPN標準帳票ガイドライン等の仕様書に沿って作成される必要がある。（仕様書上のマークは参考として記載）
- ・ カク公マークをつけているが、本仕様書上では配置位置の参考としてお示ししている。ゆうちょ銀行の取り扱いが必要な場合、余白など含め規格に応じた調整を行ったうえで使用すること。

業務		03. 保険料賦課		帳票名称		09 納付書1（カク公）（eL-QRあり）	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
1	納入済通知書	賦課年度	●			和暦表記	
2		納付合計金額	●				
3		収納機関番号		●		出力有無を選択可能とすること （マルチペイメントを使用する際に使用）	
4		納付番号		●		納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること （マルチペイメントを使用する際に使用）	
5		確認番号		●		出力有無を選択可能とすること （マルチペイメントを使用する際に使用。採番について規定されたルールはなく、納付書管理番号とペアで使用することで誤入力などにより誤った納付が行われることを防止している）	
6		納付区分		●		納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること （マルチペイメントを使用する際に使用）	
7		相当年度	●			和暦表記	
8		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”	
9		通知書番号	●			納入通知書の通知書番号	
10		納期限	●			和暦表記	
11		OCR	●				
12		バーコード	●			出力有無を選択可能とすること （コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため） コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示	
13		地方税統一QRコード		●		共通納税システム仕様書に準拠した地方税統一QRコードを出力すること	
14		eL-QR		●		地方税統一QRコードの下または横に「eL-QR」と印字する	
15		被保険者氏名	●				
16		取扱期限	●			和暦表記 （マルチペイメントを使用する際はマルチペイメントの取扱期限）	
17	原符兼払込金受領証	賦課年度	●			和暦表記	
18		納付合計金額	●				
19		取扱期限	●			和暦表記 （マルチペイメントを使用する際はマルチペイメントの取扱期限）	
20		被保険者氏名	●				
21		納付番号		●		納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること	

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		03. 保険料賦課		帳票名称		09 納付書1（カク公）（eL-QRあり）	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
22	領収証書	確認番号		●		出力有無を選択可能とすること	
23		納付区分		●		納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること	
24		賦課年度	●			和暦表記	
25		相当年度	●			和暦表記	
26		通知書番号	●			納入通知書の通知書番号	
27		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”	
28		納期限	●			和暦表記	
29		賦課年度	●			和暦表記	
30		宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、二次元コード	
31		発行年月日	●			和暦表記	
32		自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること	
33		自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること	
34		郵便還付先		●		パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること	
35		被保険者氏名	●				
36		被保険者番号	●				
37		備考 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 賦番 等	
38		編集 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号 等	
39		賦課年度	●			和暦表記	
40	相当年度	●			和暦表記		
41	通知書番号	●			納入通知書の通知書番号		

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	09 納付書1（カク公）（eL-QRあり）
----	-----------	------	-----------------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
42		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” + “（●月分）” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “（●月分）” + “～” + 終了期別 + “期” + “（●月分）”
43		納付番号		●		納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること
44		確認番号		●		出力有無を選択可能とすること
45		納付区分		●		納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること
46		納付金額	●			納付金額（末尾に“円”を付与すること） 期別保険料額-期別収納額
47		延滞金	●			延滞金（末尾に“円”を付与すること）
48		備考1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料 等
49		編集1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等
50		備考2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納付合計額 等
51		編集2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等
52		備考3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納期限 等
53		編集3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納期限 等
54		備考4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等
55		編集4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 取扱期限 等

<連帳納付書1（カク公）（eL-QRあり）>

77

〇〇県〇〇市

賦課年度

年度

後期高齢者医療保険料

納入済通知書





通常私込料金加入者負担



加入者名	〇〇市 会計管理者	口座 記号 番号	01234-5-678901	納付合計 金額			円
収納機関 番号		納付 番号		確認 番号		納付 区分	
相当年度		期別		通知書 番号		納期限	年 月 日

34

収納用

コンビニ

収納代行会社：株式会社〇〇

(ご注意) 金額を訂正した場合、この納付書では納付できません。

被保険者
氏 名

取扱
期限

年 月 日

取りまとめ金融機関・〇〇銀行〇〇支店
(〇〇市/コンビニ本部保管)



領収日付印

〇〇県〇〇市

賦課年度

年度

後期高齢者医療保険料

原簿私込金受領証



加入者名	〇〇市 会計管理者	口座記号番号	01234-5-678901	納付合計 金 額	円	取扱期限	年 月 日
☒ 被保険者氏名							
納付番号		確認番号		納付 区分		年 度	賦課年度
年 度	賦課年度	相当年度		科 目	後期高齢者医療保険料	通知書番号	期別
納期限	年 月 日						

〇〇県
〇〇市

収納代行会社：株式会社〇〇

(金融機関/コンビニ店舗保管)

領収日付印

領収証書

対象者番号

住所	氏名	性別	年齢
年度	賦課年度	相当年度	
科目	後期高齢者医療保険料		
通知書番号			
期別			
納付番号			
確認番号	納付区分		
納付金額			
延滞金			
備考1	編集1		
備考2	編集2		
備考3	編集3		
備考4	編集4		

※取扱期限とは、コンビニエンスストアでの使用可能期限です。
ゆうちょ銀行・郵便局で納付された場合は、この期限は適用されません。

収入印紙不要

収納代行会社：株式会社〇〇
(納付者保管)

- ・ 帳票詳細要件に項目の定義が無いものは、自治体に応じた内容でプレ印字されることを前提とする。
- ・ ペイジーマークはペイジー導入済み地方団体のみが使用でき、帳票レイアウトはMPN標準帳票ガイドライン等の仕様書に沿って作成される必要がある。（仕様書上のマークは参考として記載）
- ・ カク公マークをつけているが、本仕様書上では配置位置の参考としてお示ししている。
ゆうちょ銀行の取り扱いが必要な場合、余白など含め規格に応じた調整を行ったうえで使用すること。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		03. 保険料賦課		帳票名称		10 連帳納付書1（カク公）（eL-QRあり）	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
1	納入済通知書	賦課年度	●			和暦表記	
2		納付合計金額	●				
3		収納機関番号		●		出力有無を選択可能とすること （マルチペイメントを使用する際に使用）	
4		納付番号		●		納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること （マルチペイメントを使用する際に使用）	
5		確認番号		●		出力有無を選択可能とすること （マルチペイメントを使用する際に使用。採番について規定されたルールはなく、納付書管理番号とペアで使用することで誤入力などにより誤った納付が行われることを防止している）	
6		納付区分		●		納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること （マルチペイメントを使用する際に使用）	
7		相当年度	●			和暦表記	
8		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”	
9		通知書番号	●			納入通知書の通知書番号	
10		納期限	●			和暦表記	
11		OCR	●				
12		バーコード	●			出力有無を選択可能とすること （コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため） コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示	
13		地方税統一QRコード		●		共通納税システム仕様書に準拠した地方税統一QRコードを出力すること	
14		eL-QR		●		地方税統一QRコードの下または横に「eL-QR」と印字する	
15		被保険者氏名	●				
16		取扱期限	●			和暦表記 （マルチペイメントを使用する際はマルチペイメントの取扱期限）	
17	原符兼払込金受領証	賦課年度	●			和暦表記	
18		納付合計金額	●				
19		取扱期限	●			和暦表記 （マルチペイメントを使用する際はマルチペイメントの取扱期限）	
20		被保険者氏名	●				
21		納付番号		●		納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること	
22		確認番号		●		出力有無を選択可能とすること	

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		03. 保険料賦課		帳票名称		10 連帳納付書1（カク公）（eL-QRあり）	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
23		納付区分		●		納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること	
24		賦課年度	●			和暦表記	
25		相当年度	●			和暦表記	
26		通知書番号	●			納入通知書の通知書番号	
27		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “～” + 終了期別 + “期”	
28		納期限	●			和暦表記	
29	領収証書	対象者番号		●		対象者やその他の送付物との結び付け用、送付前引き抜き用の番号 利用する番号は、1からの連番、宛名番号や被保険者番号等、結び付けや特定が可能な番号とする パラメタにより出力有無を変更できること	
30		被保険者氏名	●				
31		被保険者番号	●				
32		備考 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番 等	
33		編集 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 賦課管理番号 等	
34		賦課年度	●			和暦表記	
35		相当年度	●			和暦表記	
36		通知書番号	●			納入通知書の通知書番号	
37		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” + “(●月分)” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “(●月分)” + “～” + 終了期別 + “期” + “(●月分)”	
38		納付番号		●		納付書管理番号、出力有無を選択可能とすること	
39		確認番号		●		出力有無を選択可能とすること	
40		納付区分		●		納付書納付区分、出力有無を選択可能とすること	
41		納付金額	●			納付金額（末尾に“円”を付与すること） 期別保険料額-期別収納額	
42		延滞金	●			延滞金（末尾に“円”を付与すること）	
43		備考 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等	

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		03. 保険料賦課		帳票名称		10 連帳納付書1（カク公）（eL-QRあり）	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
44		編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等	
45		備考 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納付合計額 等	
46		編集 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等	
47		備考 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納期限 等	
48		編集 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納期限 等	
49		備考 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等	
50		編集 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 取扱期限 等	

<納付書2（マル公）（el-QRあり）>
〇〇県〇〇市

賦課年度年度 後期高齢者医療保険料 納入済通知書公el

加入者名〇〇市
会計管理者

口座
記号
番号01234-5-678901

金 額

門

賦課年度

相当年度

通知書番号

期別

被保険者
番号

納期限

年 月 日

取扱
期限

年 月 日

収入
印
紙

収納代行会社：株式会社〇〇

（ご注意）金額を訂正した場合、この納付書では納付できません。

被保険者
氏 名

<el番号：12345-12345678901234567890-123456-123>

取りまとめ金融機関・〇〇銀行〇〇支店
取りまとめ店 ゆうちょ銀行 公金QR受持貯金事務センター

領収日付印

（〇〇市／コンビニ本部保管）

QRコード

〇〇県〇〇市01234-5-678901〇〇市会計管理者

賦課年度年度 後期高齢者医療保険料公

原簿

被保険者氏名

賦課年度

相当年度

通知書番号

期 別

被保険者番号

納期限

年 月 日

金 額

延滞金

備考 1

編集 1

備考 2

編集 2

備考 3

編集 3

〇〇県
〇〇市

領収日付印

収納代行会社：株式会社〇〇

（金融機関／コンビニ店側保管）

賦課年度年度 後期高齢者医療保険料

〇〇市01234-5-678901〇〇市会計管理者

領収証書公

被保険者氏名

賦課年度

相当年度

科 目

後期高齢者医療保険料

通知書番号

被保険者番号

備考 4

編集 4

期 別

納期限

年 月 日

金 額

延滞金

備考 5

編集 5

備考 6

編集 6

備考 7

編集 7

本書の金額を
領収いたしました。

領収日付印

収納代行会社：株式会社〇〇

収入印紙不貼

（納付書保管）

発行年月日自治体の名称印

郵便還付先

〇〇市
〒000-0000 〇〇市1丁目2番3号
電話番号000-000-0000

〇コンビニエンスストアで納付する方へ
ご利用は、期別ごとの納付額30万円まで可能です。納付額の訂正はできません。
〇この用紙は、直接機械により処理しますので、汚したり折り曲げたりしないでください。
〇この領収証書は大切に保管してください。
〇裏面もご覧ください。

- ・帳票詳細要件に項目の定義が無いものは、自治体に応じた内容でプレ印字されることを前提とする。
- ・マル公マークをつけているが、本仕様書上では配置位置の参考としてお示ししている。
ゆうちょ銀行の取り扱いが必要な場合、余白など含め規格に応じた調整を行ったうえで使用すること。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		03. 保険料賦課		帳票名称		11 納付書2（マル公）（eL-QRあり）	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
1	納入済通知書	賦課年度	●			和暦表記	
2		金額	●			納付金額 期別保険料額-期別収納額 ※延滞金等が発生している場合は、” 期別保険料額-期別収納額” 以外の額を含めることも可能 その際、あわせて、項目名を”納付合計金額”等に修正することも可能	
3		賦課年度	●			和暦表記	
4		相当年度	●			和暦表記	
5		通知書番号	●			納入通知書の通知書番号	
6		期別	●			①全期前納の場合、”全期” ②単一期の場合、期別 + ”期” ③複数期の場合、開始期別 + ”期” + ”～” + 終了期別 + ”期”	
7		被保険者番号	●				
8		納期限	●			和暦表記	
9		取扱期限	●			和暦表記、コンビニの支払期限	
10		OCR	●				
11		バーコード	●			出力有無を選択可能とすること （コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため） コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示	
12		地方税統一QRコード		●		共通納税システム仕様書に準拠した地方税統一QRコードを出力すること	
13		eL-QR		●		地方税統一QRコードの下または横に「eL-QR」と印字する	
14		被保険者氏名	●				
15		eL番号		●			
16	原符兼払込金受領証	賦課年度	●			和暦表記	
17		被保険者氏名	●				
18		賦課年度	●			和暦表記	
19		相当年度	●			和暦表記	
20		通知書番号	●			納入通知書の通知書番号	
21		期別	●			①全期前納の場合、”全期” ②単一期の場合、期別 + ”期” ③複数期の場合、開始期別 + ”期” + ”～” + 終了期別 + ”期”	
22		被保険者番号	●				

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		03. 保険料賦課		帳票名称		11	納付書2（マル公）（eL-QRあり）	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など		
			必須	オプション	不可			
23		納期限	●			和暦表記		
24		金額	●			納付金額（末尾に“円”を付与すること） 期別保険料額-期別収納額		
25		延滞金	●			延滞金（末尾に“円”を付与すること）		
26		備考 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料 等		
27		編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に“円”を付与すること） 等		
28		備考 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納付合計額 等		
29		編集 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等		
30		備考 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等		
31		編集 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 取扱期限 等		
32	領収証書	賦課年度	●			和暦表記		
33		宛名	●			共通の「宛名シール印刷用帳票」の以下項目と同じ 郵便番号、住所、方書、氏名、対象者氏名、カスタマバーコード、対象者番号、 二次元コード		
34		発行年月日	●			和暦表記		
35		自治体の名称	●			パラメタにより出力有無を変更できること 自治体＋首長名 自治体名の出力有無を変更できること 首長名は機能・帳票要件（首長・職務代理人出力）に従った内容を出力すること		
36		自治体の印	●			機能・帳票要件（電子公印出力）に従った内容を出力すること		

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		03. 保険料賦課		帳票名称		11 納付書2（マル公）（eL-QRあり）	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
37		郵便還付先		●		パラメタにより出力有無を変更できること マスタ管理している郵便還付先情報を設定 郵便還付先市区町村名＋郵便還付先部署名 郵便還付先郵便番号＋全角スペース＋郵便還付先住所 ※政令指定都市の場合は区単位で郵便還付先が設定できること	
38		被保険者氏名	●				
39		賦課年度	●			和暦表記	
40		相当年度	●			和暦表記	
41		通知書番号	●			納入通知書の通知書番号	
42		被保険者番号	●				
43		備考 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 賦番 等	
44		編集 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号 等	
45		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別＋”期”＋”（●月分）” ③複数期の場合、開始期別＋”期”＋”（●月分）”＋”～”＋終了期別＋”期”＋”（●月分）”	
46		納期限	●			和暦表記	
47		金額	●			納付金額（末尾に”円”を付与すること） 期別保険料額-期別収納額	
48		延滞金	●			延滞金（末尾に”円”を付与すること）	
49		備考 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料 等	
50		編集 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に”円”を付与すること） 等	
51		備考 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納付合計額 等	

業務		03. 保険料賦課		帳票名称		11 納付書2（マル公）（eL-QRあり）	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
52		編集 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に“円”を付与すること） 等	
53		備考 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等	
54		編集 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 取扱期限 等	

[illegible]

- ・ 帳票詳細要件に項目の定義が無いものは、自治体に応じた内容でプレ印字されることを前提とする。
- ・ マル公マークをつけているが、本仕様書上では配置位置の参考としてお示ししている。
 ゆうちょ銀行の取り扱いが必要な場合、余白など含め規格に応じた調整を行ったうえで使用すること。

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課	帳票名称	12 連帳納付書2（マル公）（eL-QRあり）
----	-----------	------	-------------------------

通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
1	納入済通知書	賦課年度	●			和暦表記
2		金額	●			納付金額 期別保険料額-期別収納額 ※延滞金等が発生している場合は、”期別保険料額-期別収納額”以外の額を含めることも可能 その際、あわせて、項目名を”納付合計金額”等に修正することも可能
3		賦課年度	●			和暦表記
4		相当年度	●			和暦表記
5		通知書番号	●			納入通知書の通知書番号
6		期別	●			①全期前納の場合、”全期” ②単一期の場合、期別 + ”期” ③複数期の場合、開始期別 + ”期” + ”～” + 終了期別 + ”期”
7		被保険者番号	●			
8		納期限	●			和暦表記
9		取扱期限	●			和暦表記、コンビニの支払期限
10		OCR	●			
11		バーコード	●			出力有無を選択可能とすること （コンビニ収納の実施有無は自治体ごとに差異があるため） コンビニ納付の上限額を超過する場合、 「この納付書は、高額なためコンビニでは納付できません。」を表示
12		地方税統一QRコード		●		共通納税システム仕様書に準拠した地方税統一QRコードを出力すること
13		eL-QR		●		地方税統一QRコードの下または横に「eL-QR」と印字する
14		被保険者氏名	●			
15		eL番号		●		
16	原符兼払込金受領証	賦課年度	●			和暦表記
17		被保険者氏名	●			
18		賦課年度	●			和暦表記
19		相当年度	●			和暦表記
20		通知書番号	●			納入通知書の通知書番号
21		期別	●			①全期前納の場合、”全期” ②単一期の場合、期別 + ”期” ③複数期の場合、開始期別 + ”期” + ”～” + 終了期別 + ”期”
22		被保険者番号	●			

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務		03. 保険料賦課		帳票名称		12 連帳納付書2 (マル公) (eL-QRあり)	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など	
			必須	オプション	不可		
23		納期限	●			和暦表記	
24		金額	●			納付金額 (末尾に “円” を付与すること) 期別保険料額-期別収納額	
25		延滞金	●			延滞金 (末尾に “円” を付与すること)	
26		備考 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 督促手数料 等	
27		編集 1	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 督促手数料 (末尾に “円” を付与すること) 等	
28		備考 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 納付合計額 等	
29		編集 2	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 納付合計額 (末尾に “円” を付与すること) 等	
30		備考 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 取扱期限 等	
31		編集 3	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること (想定される印字項目) 取扱期限 等	
32	領収証書	対象者番号		●		対象者やその他の送付物との結び付け用、送付前引き抜き用の番号 利用する番号は、1 からの連番、宛名番号や被保険者番号等、結び付けや特定が可能な番号とする パラメタにより出力有無を変更できること	
33		被保険者氏名	●				
34		賦課年度	●			和暦表記	
35		相当年度	●			和暦表記	
36		通知書番号	●			納入通知書の通知書番号	
37		被保険者番号	●				
38			備考 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること (印字例) 賦番 等

帳票詳細要件 後期高齢支援システム

業務	03. 保険料賦課		帳票名称		12 連帳納付書2（マル公）（eL-QRあり）	
通番	システム印字項目		実装項目			印字編集条件など
			必須	オプション	不可	
39		編集 4	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 賦課管理番号 等
40		期別	●			①全期前納の場合、“全期” ②単一期の場合、期別 + “期” + “（●月分）” ③複数期の場合、開始期別 + “期” + “（●月分）” + “～” + 終了期別 + “期” + “（●月分）”
41		納期限	●			和暦表記
42		金額	●			納付金額（末尾に “円” を付与すること） 期別保険料額-期別収納額
43		延滞金	●			延滞金（末尾に “円” を付与すること）
44		備考 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 督促手数料 等
45		編集 5	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 督促手数料（末尾に “円” を付与すること） 等
46		備考 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 納付合計額 等
47		編集 6	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 納付合計額（末尾に “円” を付与すること） 等
48		備考 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された文言を印字すること （印字例） 取扱期限 等
49	編集 7	●			文言マスタで印字有無が「有」となっている場合、設定された項目を印字すること （想定される印字項目） 取扱期限 等	